



令和5年度

川崎市岡本太郎美術館年報

ANNUAL REPORT 2023.4-2024.3

目次

I. 事業報告	1
1. 企画展	
「顕神の夢 一幻視の表現者一 村山槐多、関根正二から現代まで」展	1
「凱旋！岡本太郎」展	9
「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」展	19
「第 27 回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」展	23
2. 常設展	
「岡本太郎と太陽の鳥」展	26
「岡本太郎とスポーツ」展	30
「人のかたち：岡本太郎の人物表現」展	34
3. 協力企画展・イベント	39
4. 収集・保存・貸出	41
収集作品及び資料（購入）	
作品修復	
貸出作品及び資料	
5. 情報・刊行物	44
刊行物	
6. 教育・普及事業	45
イベント・ワークショップ	
どこでも TARO アトリエ	
団体利用実績	
学校プログラム	
教材開発と利用	
美術館教育研究会	
7. 指定管理者による自主事業	59
8. 川崎市岡本太郎美術館部会	64

II. 資料

1. 入館者数統計…………… 66
 令和4年度 月別入館者数
 年度別入館者数
2. 美術館事業 予算・決算概要…………… 68
 予算概要
 決算概要

III. 組織名簿…………… 72

- 川崎市岡本太郎美術館部会 委員名簿
- 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要…………… 73

- 美術館の目的
- 美術館事業内容
- 美術館沿革
- 施設・設備概要

V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則…………… 77

- 条例
- 条例施行

I. 事業報告

1. 企画展

「顕神の夢 ―幻視の表現者― 村山槐多、関根正二から現代まで」展

会 期	2023年4月29日(土・祝)～6月25日(日)
開催日数	49日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、顕神の夢展実行委員会
助 成	一般財団法人地域創造
監 修	鎌田東二(京都大学名誉教授)
観 覧 料	一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	17,111名
1日平均	349名(小数点以下、四捨五入)
図 録	A5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4(全4種)
出品点数	131点
担 当 者	土方明司、喜多春月、佐藤玲子



展示風景



図録



チラシ(全4種)

■開催趣旨■

自己を超えた神的存在への憧れや思慕、畏怖を制作の原動力とする作家を、「幻視」をキーワードに読み解くことで、従来の美術史観であるモダニズムの尺度から零れ落ちた作家・作品に光をあてると同時に、既に評価が定まった作家・作品についても再評価を試みるものです。

展覧会場は全5章構成で、「人間を超越した『何か』」と表現者との関係性を軸に展開しました。第1章では、『何か』に憑りつかれて、つまり神懸りによって生まれた作品を展示。第2章では、常人では感じえない『何か』を幻視する作家を紹介しました。第3章で展示されたのは、夢に現れるイメージのように、『何か』からの刺激によって網膜を介さずに現れる光を留めた作品です。第4章では『何か』の姿を模った作品を、第5章では別次元の視点によって『何か』をこの世界にもたらす作品を紹介しました。

これまで近現代の美術を新たな視点から検証する展覧会は数多く企画されてきました。しかし、前近代的な神秘的・宗教的要素から美術の流れを読み解く作業はあまりなされていません。本展は、そうした作業により、今まで隠れていた、しかし、重要な美術のもう一つの流れを明らかにするものです。

また、本展は評価の定まらない作家・作品に光を当て、より豊かな美術の局面を開示することを試みる機会でもありました。当館の後に巡回する4館(足利市立美術館、久留米市美術館、町立久万美術館、碧南市藤井達吉現代美術館)は、本展をきっかけに、全国的にはマイナーであるものの各々の郷土史においては重要な作家・作品の調査を深めることができました。また、当館にとっては、岡本太郎作品と各館から推薦された作品とを並置することで、岡本太郎の芸術・思想を新たな切り口から捉える契機となりました。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

竹内和佳子「西洋的価値観を超越 「異端」の作家に光 展覧会」『読売新聞』2023年5月23日

山根聡「かながわ美の手帖 川崎市岡本太郎美術館「顕神の夢―幻視の表現者―村山槐多、関根正二から現代まで」展 「霊性」という尺度 より豊かなもの」『産経新聞』2023年5月29日

大西若人「視線 神か幻か 異能の表現者たちの世界」『朝日新聞』2023年6月13日夕刊

江尻潔「「心」乱れる時代に、輝く「魂」を見出すために「顕神の夢―幻視の表現者―」展の現代彫刻が孕む「祈り」について」『月刊美術』2023年5月号

喜多春月「顕神の夢―幻視の表現者―村山槐多、関根正二から現代まで「霊性の尺度」で美術史を編み直す」『新美術新聞』2023年5月15日号

「Art Topics 日本美術史を「霊性」の尺度で捉え直す―法螺貝の音とともに「顕神の夢」展開幕！」『月刊美術』2023年6月号

■関連事業■

・顕神の夢展開幕記念鼎談

展覧会監修者と本展提案者2名が「顕神の夢」について熱く語り合いました。

日 時 2023年4月29日（土・祝）14:00～

場 所 ガイダンスホール

登壇者 鎌田東二（京都大学名誉教授、本展監修者）

江尻潔（足利市立美術館次長、本展提案者）

土方明司（川崎市岡本太郎美術館館長、本展提案者）

参加人数 99名



・ワークショップ「自分再発見！」

本展出品作家の花沢忍氏を講師に迎えたワークショップです。自分の好きな言葉や詩、歌を元に絵を描き、完成した作品を全員で鑑賞しました。それぞれの心の中を旅し、参加者が自分自身を見つめ直す機会となりました。

日 時 2023年5月21日（日）13:00～15:30

場 所 企画展示室、アトリエ

講 師 花沢忍（本展出品作家、画家）

料 金 500円＋観覧料

参加人数 5名



・ワークショップ「ベラボーナ自然に挑む！」

本展出品作家の三宅一樹氏を講師に迎えたワークショップです。生田緑地を散策し、細長く繋ぎあわせたスケッチブックでメタセコイアの木のスケッチを楽しみました。

日 時 2023年6月17日（土）10:00～12:30

場 所 企画展示室、アトリエ、生田緑地内

講 師 三宅一樹（本展出品作家、彫刻家）

料 金 800円＋観覧料

参加人数 7名

備 考 当初、2023年6月3日（土）に開催予定でしたが、前日の大雨で臨時休館となったため、6月17日（土）に開催を延期しました。



・出品作家によるギャラリートーク

本展出品作家の花沢忍氏に、展示中のご自身の作品についてや、日頃考えたり感じたりしていることを会場でお話いただきました。

日 時 2023年5月21日(日) 11:00~11:30
 場 所 企画展示室
 話し手 花沢忍(本展出品作家、画家)
 料 金 無料(要観覧料)
 参加人数 26名



・担当学芸員によるギャラリートーク

①

日 時 2023年5月27日(日) 14:00~14:30
 場 所 企画展示室
 料 金 無料(要観覧料)
 参加人数 15名



②

日 時 2023年6月17日(土) 14:00~14:30
 場 所 企画展示室
 ゲスト 三宅一樹(本展出品作家、彫刻家)
 料 金 無料(要観覧料)
 参加人数 52名
 備 考 当初、2023年6月3日(土)に三宅一樹氏を話し手とする出品作家によるギャラリートークを開催予定でしたが、前日の大雨で臨時休館となったため、6月17日の担当学芸員によるギャラリートークに三宅氏をゲストとしてお招きしました。



■出品リスト■

No.	作品名	作家名	材質・形状	制作年	所蔵
I 見神者たち					
A-Dn-1	お筆先	出口なお	紙本墨書	不明	鎌田東二氏蔵
A-Do-1	耀盃 銘 瑞雲	出口王仁三郎	陶器	不明	鎌田東二氏蔵
A-Do-2	巖上観音	出口王仁三郎	紙本墨画	不明	鎌田東二氏蔵
A-Do-3	おほもとすめおみかみ	出口王仁三郎	紙本墨書	1921 頃	鎌田東二氏蔵
A-0t-1	三貴神像	岡本天明	紙本墨画	1948 頃	個人蔵
A-Kn-1	妣の国	金井南龍	油彩、キャンパス	1969	さすら蔵
A-Mt-1	無題	宮川隆	インク、紙	1993	作家蔵
A-Mt-2	無題	宮川隆	インク、紙	2014 頃	作家蔵
A-Mt-3	無題	宮川隆	インク、紙	2009 頃	作家蔵
A-Mk-1	スサノヲ顕現	三輪洗旗	アクリル絵具、パネル	2008-	作家蔵
A-Mk-2	雷神	三輪洗旗	油彩、パネル	2022	個人蔵

A-Mk-3	太子と大師	三輪洗旗	油彩、パネル	2022	個人蔵	
A-Mk-4	神馬	三輪洗旗	油彩、パネル	2022	個人蔵	
II 幻視の画家たち						
B-Mk-1	裸婦	村山槐多	油彩、キャンバス	1915-16	町立久万美術館	
B-Mk-2	尿する裸僧	村山槐多	油彩、キャンバス	1915	長野県立美術館	◇
B-Mk-3	自画像	村山槐多	油彩、キャンバス	1916	三重県立美術館	
B-Mk-4	バラと少女	村山槐多	油彩、キャンバス	1917	東京国立近代美術館	
B-Mk-5	櫛	村山槐多	鉛筆、木炭、紙	1917	東京都現代美術館	
B-Ss-1	少年	関根正二	油彩、キャンバス	1917	個人蔵	
B-Ss-3	姉弟	関根正二	油彩、キャンバス	1918	福島県立美術館	
B-Ss-5	三星	関根正二	油彩、キャンバス	1919	東京国立近代美術館	◆
B-Km-1	アダムとイヴ	河野通勢	油彩、厚紙	1914	長野県立美術館	◇
B-Km-2	裾花川の河柳	河野通勢	油彩、キャンバス	1915	長野県立美術館	◇
B-Km-3	三人の乞食	河野通勢	油彩、キャンバス	1916	長野県立美術館	◆
B-Km-4	自画像	河野通勢	油彩、板	1918	調布市 武者小路実篤記念館	
B-Yt-1	雲のある自画像	萬鐵五郎	油彩、キャンバス	1912-13 頃	岩手県立美術館	
B-Yt-2	目のない自画像	萬鐵五郎	油彩、キャンバス	1915	岩手県立美術館	
B-Yt-3	かなきり声の風景	萬鐵五郎	油彩、キャンバス	1918	山形美術館寄託	
B-Yt-4	木の間から見下した町	萬鐵五郎	油彩、キャンバス	1918	岩手県立美術館	
B-Yt-5	丘のみち	萬鐵五郎	油彩、キャンバス	1918 頃	萬鉄五郎記念美術館	
B-Kh-1	孔雀	古賀春江	油彩、キャンバス	1932	福岡大学	
B-Kh-2	サーカスの景	古賀春江	油彩、キャンバス	1933	神奈川県立近代美術館	
B-Tc-1	水汲み	高橋忠彌	油彩、キャンバス	1951	萬鉄五郎記念美術館	
B-Ms-1	風景	三輪田俊助	油彩、キャンバス	1937	町立久万美術館	
B-Ar-1	笹藪わたる	芥川麟太郎	コンテ、鉛筆、水彩、和紙	2015-17	作家蔵	
B-Ar-2	草藪讃哥	芥川麟太郎	コンテ、鉛筆、水彩、和紙	2020-21	作家蔵	
B-Ua-1	ながれ I	内田あぐり	岩絵具、顔料、墨、膠、雲肌麻紙、楮紙	2022	作家蔵	
B-Ua-2	木霊	内田あぐり	岩絵具、顔料、墨、膠、雲肌麻紙	2022	個人蔵	
B-Ua-3	夜の人	内田あぐり	岩絵具、顔料、墨、膠、雲肌麻紙	2022	作家蔵	
B-Ua-4	ドローイング 《黒髪とながれ》	内田あぐり	鉛筆、木炭、コンテ、鳥の子紙	2022	作家蔵	
B-Ua-5	深い河	内田あぐり	岩絵具、顔料、膠、雲肌麻紙	2023	作家蔵	

B-Ua-6	ながれ III	内田あぐり	岩絵具、顔料、墨、膠、雲肌麻紙	2023	作家蔵	
B-Fh-1	幻獣ケンムンと画者像	藤山ハン	ミクストメディア	2016-20	作家蔵	
B-Fh-2	南島神獣 —四つのパーツ からなる光景	藤山ハン	油彩、雁皮紙、厚紙	2018	作家蔵	
B-Fh-3	魂魄の群舞する湖畔	藤山ハン	油彩、雁皮紙	2021	作家蔵	
B-Sa-1	21. 8. 18	庄司朝美	油彩、アクリルボックス	2021	作家蔵	
B-Sa-2	23. 3. 2	庄司朝美	油彩、アクリル板	2023	作家蔵	
B-Sa-3	23. 3. 4	庄司朝美	油彩、アクリル板	2023	作家蔵	
B-St-1	ドラマ (地の巻)	齋藤隆	コンテ、紙	1986	福島県立美術館	◇
B-St-2	ドラマ (天の巻)	齋藤隆	コンテ、紙	1986	福島県立美術館寄託	◆
B-Ym-1	給食当番	八島正明	油彩、キャンバス	1975	碧南市藤井達吉 現代美術館	
B-Hs-1	self portrait	花沢忍	油彩、キャンバス	2017	作家蔵	
B-Hs-2	宇宙について	花沢忍	ミクストメディア、 キャンバス	2019	作家蔵	
B-Hs-3	冬がくる	花沢忍	油彩、キャンバス	2023	作家蔵	
B-Hs-4	夢	花沢忍	油彩、キャンバス	2023	作家蔵	
III 内的光を求めて						
C-Yt-1	枯木龍吟 1	横尾龍彦	ミクストメディア、 キャンバス	1988	鎌田東二氏蔵	
C-Yt-2	龍との闘い	横尾龍彦	ミクストメディア、 キャンバス	1988	鎌田東二氏蔵	
C-Yt-3	無題	横尾龍彦	グワッシュ、紙	1989-91 頃	鎌田東二氏蔵	
C-Ft-1	複数の光源	藤白 尊	油彩、キャンバス	2021	作家蔵	
C-Ft-2	小さな渦群	藤白 尊	油彩、キャンバス	2022	作家蔵	
C-Ft-3	未明	藤白 尊	油彩、キャンバス	2022	作家蔵	
C-Uy-1	支えあう形	上田葉介	油彩、キャンバス	2020	作家蔵	
C-Uy-2	積みあがる形	上田葉介	油彩、キャンバス	2021	作家蔵	
C-Kn-2	八尺鏡	黒須信雄	アクリル絵具、キャンバス	2008	足利市立美術館	
C-Kn-3	母止津和太良世 No. 1	黒須信雄	アクリル絵具、キャンバス	2022	作家蔵	
C-Ho-2	Qaf 山の七つの峰と 七つの秘景 II	橋本 倫	油彩、キャンバス	2005	作家蔵	
C-Im-1	夜	石塚雅子	油彩、キャンバス	2011	作家蔵	
C-Im-2	彼方	石塚雅子	油彩、キャンバス	2013	作家蔵	
IV 神・仏・魔を描く						
D-E-1	十一面観音菩薩立像	円空	木彫	江戸時代	林泉寺 (碧南市藤井)	

					達吉現代美術館寄託)
D-Hh-2	石に就て	橋本平八	木、着彩、附原石	1928	個人蔵
D-Ty-1	蠟燭	高島野十郎	油彩、板		福岡県立美術館
D-Ty-2	蠟燭	高島野十郎	油彩、板	戦後期	久留米市美術館
D-Ft-1	佛殿図	藤井達吉	紙本着色	1938	碧南市藤井達吉現代美術館 ◆
D-Ft-4	炎	藤井達吉	紺紙金泥、着色	不明	碧南市藤井達吉現代美術館寄託 ◇
D-Ht-1	恵まれしもの	秦テルヲ	寒冷紗に彩色	1923頃	星野画廊
D-Ht-2	《阿修羅》(自画像)	秦テルヲ	紙本墨画	1945	星野画廊
D-Ht-3	樹下菩薩像	秦テルヲ	紙本に黒チョーク	昭和初期	星野画廊
D-Cy-1	装飾文様(懊悩)	長安右衛門	木綿布に着色	1927	東京藝術大学
D-Hk-1	善財南へ行く	平野杏子	油彩、キャンバス	1974	平塚市美術館
D-Mny-1	魚籃観音像	牧島如鳩	油彩、キャンバス	1952	公益財団法人 足利市民文化財団
D-Sk-1	蒙古の女	佐藤溪	油彩、キャンバス	1950	大分県立美術館
D-Sk-2	大天主太神と二天使	佐藤溪	油彩、板	1953	聴潮閣
D-Im-2	不安	石野守一	油彩、キャンバス	不明	橋本倫氏蔵
D-Mna-1	妖精	真島直子	ミクストメディア	2010	作家蔵(足利市立美術館寄託)
D-Mna-2	妖精	真島直子	鉛筆、紙	2011	作家蔵(足利市立美術館寄託)
D-Yk-1	無題	吉原航平	墨、パネルに紙貼付	2010-13	橋本倫氏蔵
D-Wi-1	1994. 5. 8	若林奮	墨、紙	1994	足利市立美術館
D-Wi-2	1997. 6. 19	若林奮	墨、紙	1997	足利市立美術館
D-Wi-3	1997. 9. 19	若林奮	鉛筆、紙	1997	足利市立美術館
D-Wi-4	1998. 4. 18	若林奮	水彩、紙	1998	足利市立美術館
D-Wi-5	1998. 5. 2	若林奮	墨、紙	1998	足利市立美術館
D-Wi-6	1998. 12. 18	若林奮	墨、紙	1998	足利市立美術館
D-Wi-7	1998. 12. 21	若林奮	墨、紙	1998	足利市立美術館
D-Wi-8	1999. 8. 29 (犬の左側側面の横顔)	若林奮	鉛筆、色鉛筆、ボールペン、紙	1999	足利市立美術館
D-Kh-1	Eros No. 71	黒川弘毅	ブロンズ	2009	平塚市美術館
D-Kh-2	Eros No. 72	黒川弘毅	ブロンズ	2009	平塚市美術館
D-Sm-1	久延毘古	佐々木誠	楠に彩色、煤竹	2012	作家蔵
D-Mi-1	root1(上九沢八坂神社御神櫓)	三宅一樹	木炭、紙	2011	作家蔵
D-Mi-2	スサノオ	三宅一樹	檜神木	2014	作家蔵
D-Mi-3	那智の多氣	三宅一樹	杉板より彫出、彩色	2018	作家蔵

V 越境者たち

E-Mk-1	日輪と山	宮沢賢治	複製画	不明	林風舎	
E-Mk-2	無題 (赤玉)	宮沢賢治	複製画	不明	林風舎	
E-Mk-3	無題 (ケミカルガーデン)	宮沢賢治	複製画	不明	林風舎	
E-Mk-4	無題 (月夜のでんしん ばしら)	宮沢賢治	複製画	不明	林風舎	
E-Ky-1	みどり色の死	草間彌生	グワッシュ、コラージュ、紙	1975	松本市美術館	◇
E-Ky-2	水に映った蔭	草間彌生	グワッシュ、コラージュ、紙	1977	松本市美術館	◆
E-Ky-3	銀河 (レペティティブ ビジョン)	草間彌生	アクリル絵具、キャンバス	2002	松本市美術館	
E-Ot-1	具現	岡本太郎	油彩、キャンバス	1961	川崎市岡本太郎美術館	
E-Ot-2	渾沌	岡本太郎	ブロンズ	1962	川崎市岡本太郎美術館	
E-Ot-3	千手	岡本太郎	油彩、キャンバス	1965	川崎市岡本太郎美術館	
E-Yt-1	水のある赤い風景	横尾忠則	アクリル絵具、キャンバス	1996	作家蔵 (横尾忠則 現代美術館寄託)	
E-Yt-2	如何に生きるか	横尾忠則	油彩、キャンバス	2012	作家蔵 (横尾忠則 現代美術館寄託)	
E-Bm-2	海から見た風景IV (月は東に日は西に)	馬場まり子	アクリル絵具、 アクリルガッシュ、 ボードに紙	2010	作家蔵	
E-Az-1	AZUCHI 百八十七 あたまいっばいの鹿	赤木仁	油彩、キャンバス	2011-	作家蔵	
E-Fn-1	Drawing	舟越直木	アクリル絵具、 カラースプレー、紙	2006	個人蔵	
E-Fn-2	少年	舟越直木	インク、紙	2008	個人蔵	
E-Fn-3	Maria	舟越直木	木炭、紙	2009	個人蔵	
E-Fn-4	髪飾りをつけた少女	舟越直木	ブロンズ	2012	岩手県立美術館	
E-Fn-5	マリア・ マグダレナ age14	舟越直木	木炭、カラーチョーク、 紙	2012	岩手県立美術館	◇
E-Fn-6	ブルーアイライン	舟越直木	木炭、カラーチョーク、 紙	2012	岩手県立美術館	◆
E-Fn-7	青い女性像	舟越直木	木炭、パステル、紙	2013	個人蔵	
E-Fn-8	マグダラのマリア	舟越直木	木炭、パステル、紙	2013	個人蔵	
E-Nk-1	無題	中園孔二	油彩、キャンバス	2012	個人蔵	
E-Nk-2	無題	中園孔二	油彩、キャンバス	2012	個人蔵	
E-Nk-3	無題	中園孔二	油彩、キャンバス	2014	個人蔵	
E-Nk-4	無題	中園孔二	油彩、キャンバス	2014	個人蔵	
E-Nk-5	無題	中園孔二	油彩、キャンバス	不明	個人蔵	
E-Nk-6	無題	中園孔二	油彩、鉛筆、 シーリングワックス、 キャンバス	不明	個人蔵	

E-0j-1	XMAZ	OJUN	油彩、キャンバス	2013	作家蔵	◎
E-0j-2	道路と女とパーキング (切通之瀉生)	OJUN	油彩、キャンバス	2021	作家蔵	
E-0j-3	右ノ目	OJUN	紙にクレヨン、ガラス、 鉄	2023	作家蔵	

◇…4/29 から 5/28 まで展示 ◆…5/30 から 6/25 まで展示 ◎…5/1 から 6/25 まで展示

「凱旋！岡本太郎」展

会 期	2023年7月8日(土)～10月1日(日)
開催日数	73日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
観 覧 料	一般800(640)円、高・大学生・65歳以上600(480)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	43,684名
1日平均	598名(小数点以下、四捨五入)
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	271点
担 当 者	佐藤玲子、千村曜子、鈴木亜優



ポスター



チラシ



展示風景

■開催趣旨■

2022年から23年にかけて全国3都市、大阪・東京・愛知で行われた大規模巡回展から帰ってきた当館の岡本太郎コレクションを一同で紹介する展示となり、展覧会にあわせた関連番組も話題となり、あらためて、子どもから大人まで幅広い世代から関心を集めるなかで、ご当地川崎への「凱旋」展覧会で、あらためて岡本太郎の魅力を、常設と企画の両方の展示スペースをもちいての紹介となりました。人気の代表作はもちろんのこと、パリ留学中に制作し戦果によって消失した作品を画集『OKAMOTO』より実寸大パネルにし、当時現地の抽象芸術グループで前衛芸術家や思想家との交流と合わせて紹介し、家具やグッズ等のインダストリアルデザイン、制作過程を裏打ちするドローイングとともに展示をしました。また、『日本の伝統』に収録された「中世の庭」のための1950年代当時の紙焼き写真を初公開しました。

また夏休みにあわせたイベント、子ども向けワークシートなど、岡本太郎の面白さと奥深さを体感してもらう機会を数多く行いました。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

「戦火をはさみ 刻まれたのは」『朝日新聞』2023年8月15日

「太郎の多面的魅力 再び」『東京新聞』2023年7月23日

「帰ってきた！岡本太郎作品」『神奈川新聞』2023年8月4日

「岡本太郎作品川崎に「凱旋」」『読売新聞』2023年8月8日

「凱旋！岡本太郎」『月間美術』2023年9月号

「凱旋！岡本太郎」『月間アートコレクターズ』2023年9月号

■関連事業■

・ワークシート「みることは創ること」配布

太郎さんの人生の歩みが一目でわかり、作品を楽しむことができる問いかけが記載されたワークシートを作成しました。「みることは創ること」という太郎さんの言葉を受け、スケッチページもあります。多くの親子連れや友達同士でワークシートをもとに、鑑賞を楽しむ姿が見られました。

場 所 常設展示室入口横

料 金 無料

ワークシート A5

配布数 7,958 枚



・第8章「見ることから描くことへ」スケッチ用紙配布

展覧会の第8章“絵はすべての人のつくるもの”では、来館者に創造することの楽しさ、鑑賞の深まりを体験してもらうために、太郎彫刻のスケッチコーナーを設けました。子どもから大人まで、多くの方に体験していただきました。

設置期間 2023年7月8日(土)～10月1日(日)

場 所 企画展示室 第8章

配布数 4274 枚



・「凱旋！岡本太郎」展 ワンポイントトーク

担当学芸員が展示内容を詳しく解説しました。

日 時 2023年①9月3日(日)、②9月23日(土) 各日14:00～

場 所 展示室

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 ①46名、②49名

■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	空間Ⅲ	岡本太郎	1934(消失作品)	写真パネル
2	雲	岡本太郎	1935(消失作品)	写真パネル
3	リボン	岡本太郎	1935(消失作品)	写真パネル
4	リボンを結んだ女	岡本太郎	1935(消失作品)	写真パネル
5	机のある静物	岡本太郎	1936(消失作品)	写真パネル
6	夏の夜	岡本太郎	1936-1937 (消失作品)	写真パネル
7	作家	岡本太郎	1936-1937 (消失作品)	写真パネル
8	空間Ⅱ	岡本太郎	1934(消失作品)	写真パネル
9	空間	岡本太郎	1934/1954	油彩、キャンバス
10	リボンの祭	岡本太郎	1935(消失作品)	写真パネル
11	傷ましき腕	岡本太郎	1936/1949	油彩、キャンバス
12	グラフィスム	テオ・ケルグ	1973	シルクスクリーン、紙

13	リズム—色彩 No. 816	ソニア・ドローネー=テルク	1973	シルクスクリーン、紙
14	コンポジション D	ピエト・モンドリアン	1973	シルクスクリーン、紙
15	コンポジション	ハンス（ジャン）・アルプ	1973	シルクスクリーン、紙
16	コンポジション	ジェラルド・ヴェリアミ	1973	シルクスクリーン、紙
17	宇宙の誕生	アントワーヌ・ペプスナー	1973	シルクスクリーン、紙
18	コンポジション	ヴァシリー・ カンディンスキー	1973	シルクスクリーン、紙
19	敗惨の歎き	岡本太郎	1925	水彩絵具、紙
20	親子因縁	岡本太郎	不明	墨、絵具、紙
21	ある夫婦の六態・浮世六態	岡本一平	不明	墨、絵具、紙
22	生々流転	岡本かの子著/岡本太郎装幀	1940	書籍
23	観音経	岡本かの子	不明	紙に印刷
24	ひととせの	岡本かの子	不明	墨、紙
25	『母の手紙』	岡本太郎	1979	書籍
26	『母の手紙』 (初版、新仮名改訂版)	岡本太郎	1941、1979	書籍
27	赤い鳥	岡本太郎	1920	書籍
28	電撃	岡本太郎	1947	鉛筆、インク、紙
29	夜	岡本太郎	1947	鉛筆、紙
30	歩く人	岡本太郎	1952	鉛筆、インク、墨、紙
31	喫煙者	岡本太郎	1951	鉛筆、紙
32	変身	岡本太郎	1953	鉛筆、墨、紙
33	犬	岡本太郎	1954	鉛筆、コンテ、紙
34	美女と野獣	岡本太郎	1949	鉛筆、インク、紙
35	作家	岡本太郎	1948	鉛筆、墨、紙
36	二人	岡本太郎	1948	油彩、キャンバス
37	美女と野獣	岡本太郎	1949	油彩、キャンバス
38	黒い太陽	岡本太郎	1949	油彩、キャンバス
39	まひるの顔	岡本太郎	1948	油彩、キャンバス
40	喫煙者	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
41	作家	岡本太郎	1948	油彩、キャンバス
42	こどもの時間	岡本太郎	1975	繊維強化プラスチック
43	樹人	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
44	夢の鳥	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
45	夜	岡本太郎	1947	油彩、キャンバス
46	少女と太陽	北代 省三	1948/1989	油彩、キャンバス

47	白昼夢	北代 省三	1948/1989	油彩、キャンバス
48	無題	山口 勝弘	1950 年頃	水彩、クレパス、紙
49	無題	山口 勝弘	1950 年頃	クレパス、油彩、紙
50	無題	福島 秀子	1951	水彩、紙
51	無題	福島 秀子	1951	インク、水彩、紙
52	化け物の系譜シリーズ ゴム族	池田 龍雄	1956	インク、紙
53	ゆりかご	池田 龍雄	1950 年代	インク、紙
54	山の男	勅使河原 宏	1952	油彩、キャンバス
55	歩く人	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
56	遊ぶ子	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
57	春	岡本太郎	1977	鉛筆、インク、墨、紙
58	風神	岡本太郎	1977	銅版画、絵具、紙
59	石と樹	岡本太郎	1977	銅版画、絵具、紙
60	眼と眼	岡本太郎	1977	銅版画、絵具、紙
61	マリオネット・顔	岡本太郎	1952	陶磁
62	四ツ足	岡本太郎	1956	陶磁
63	雑草	岡本太郎	1956	陶磁
64	笑い	岡本太郎	1952	陶磁
65	クリマ	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
66	犬	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
67	駄々っ子	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
68	海辺	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
69	顔	岡本太郎	1952	陶磁
70	駈ける	岡本太郎	1958	木、クラッシュタイル
71	花ひらく	岡本太郎	1958	木、クラッシュタイル
72	花ひらく	岡本太郎	1958	リトグラフ、紙
73	遊ぶ	岡本太郎	1958	木、クラッシュタイル
74	渾渾	岡本太郎	1962	ブロンズ
75	変身	岡本太郎	1953	油彩、キャンバス
76	女	岡本太郎	1962	油彩、紙
77	ふたり	岡本太郎	1962	油彩、紙
78	顔の椅子	岡本太郎	1953	木
79	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ
80	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ
81	犬の植木鉢	岡本太郎	1955	陶磁

82	愛	岡本太郎	1961	繊維強化プラスチック
83	午後の日	岡本太郎	1967	陶磁
84	誇り	岡本太郎	1962	コンクリート
85	動物	岡本太郎	1959	繊維強化プラスチック
86	樹人	岡本太郎	1971	陶磁
87	スモーキングセット	岡本太郎	1952	陶磁
88	横たわる	岡本太郎	1981	陶磁
89	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
90	飛翔	岡本太郎	1977	陶磁
91	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
92	渾沌	岡本太郎	1979	陶磁
93	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
94	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
95	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ
96	日中テレビ祭 日本代表メダル	岡本太郎	1984	アルミ
97	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
98	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
99	国鉄民営化記念 オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
100	トランプ	岡本太郎	1977	紙
101	いのち	岡本太郎	1986	アルミ
102	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
103	日本海博覧会	岡本太郎	1973	金属
104	不明	岡本太郎	不明	金属
105	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
106	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
107	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
108	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ
109	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
110	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
111	顔	岡本太郎	1990	ガラス
112	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
113	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
114	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
115	近鉄パファローズ	岡本太郎	不明	布

116	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
117	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
118	顔	岡本太郎	1978	革
119	不明（スカーフ）	岡本太郎	1975	絹
120	不明	岡本太郎	1964	ガラス、絵具
121	黒い顔	岡本太郎	1968	陶磁
122	瑞鳥	岡本太郎	1987	繊維強化プラスチック
123	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁
124	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
125	みつめあう愛	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック
126	むすめ	岡本太郎	1967	陶磁
127	顔	岡本太郎	1952	陶磁
128	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
129	重工業	岡本太郎	1949	鉛筆、インク、紙
130	重工業	岡本太郎	1949	鉛筆、インク、墨、紙
131	重工業	岡本太郎	1949	鉛筆、インク、墨、紙
132	重工業	岡本太郎	1949	油彩、キャンバス
133	森の掟	岡本太郎	1950	鉛筆、インク、紙
134	森の掟	岡本太郎	1950	鉛筆、インク、墨、紙
135	森の掟	岡本太郎	1950	鉛筆、紙
136	森の掟	岡本太郎	1950	鉛筆、紙
137	森の掟	岡本太郎	1950	油彩、キャンバス
138	青空	岡本太郎	1954	鉛筆、紙
139	青空	岡本太郎	1954	鉛筆、紙
140	青空	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
141	二つの顔	岡本太郎	1957	油彩、キャンバス
142	赤	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
143	ドラマ	岡本太郎	1958	油彩、キャンバス
144	マスク	岡本太郎	1959	油彩、キャンバス
145	マスク	岡本太郎	1959	鉛筆、紙
146	エクセホモ	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
147	装える戦士	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス
148	赤のアイコン	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
149	風神	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
150	アドレッサン	岡本太郎	1961	鉛筆、墨、紙
151	アドレッサン	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス

152	まひるの生物	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス
153	飛ぶ眼	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
154	縄文土器（井戸尻考古館/ 長野県出土）	岡本太郎	1974	ゼラチンシルバープリント
155	縄文土器（東大人類学教室 /山梨県出土）	岡本太郎	1956	ゼラチンシルバープリント
156	縄文土器（東大人類学教室 /山梨県出土）	岡本太郎	1956	ゼラチンシルバープリント
157	縄文土器（東大人類学教室 /富山県出土）	岡本太郎	1956	ゼラチンシルバープリント
158	縄文土器（東京国立博物館 /長野県出土）	岡本太郎	1956	ゼラチンシルバープリント
159	土偶（横浜市出土）	岡本太郎	1956	ゼラチンシルバープリント
160	西芳寺・向上関より（門） から洪隠山へ登る石段	岡本太郎	1955	ゼラチンシルバープリント
161	大徳寺・孤篷庵の飛石	岡本太郎	1954	ゼラチンシルバープリント
162	龍安寺・雨落ちの小溝	岡本太郎	1954	ゼラチンシルバープリント
163	大徳寺・ 孤篷庵の「露結」の手水鉢	岡本太郎	1954	ゼラチンシルバープリント
164	西芳寺の夜泊石	岡本太郎	1955	ゼラチンシルバープリント
165	慈照寺 銀閣 銀沙灘	岡本太郎	1954	ゼラチンシルバープリント
166	千鳥城（松江）	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
167	山手	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
168	岩手・鹿踊り（花巻）	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
169	角巻きの女	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
170	なまはげ	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
171	横手かまくら・ かまくらを作る少女	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
172	箱まわしの小さな人形の首	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
173	美しい形のヤス	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
174	基衝棺の副葬品・ 守刀の柄の飾り（鹿の角）	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
175	桐蔭席茶会・席入りを待つ	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
176	阿波踊り	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
177	通天閣	岡本太郎	1957	ゼラチンシルバープリント
178	呼ぶB	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック

179	石垣島	岡本太郎	1959	ゼラチンシルバープリント
180	首里	岡本太郎	1959	ゼラチンシルバープリント
181	いるか漁	岡本太郎	1959	ゼラチンシルバープリント
182	久高島	岡本太郎	1959	ゼラチンシルバープリント
183	石垣の市場	岡本太郎	1959	ゼラチンシルバープリント
184	久高のろ	岡本太郎	1959	ゼラチンシルバープリント
185	イザイホー 夜に続く神事	岡本太郎	1959	ゼラチンシルバープリント
186	首里	岡本太郎	1966	ゼラチンシルバープリント
187	石垣島の町並み	岡本太郎	1959	ゼラチンシルバープリント
188	読谷	岡本太郎	1959	ゼラチンシルバープリント
189	恐山	岡本太郎	1962	ゼラチンシルバープリント
190	オシラさま	岡本太郎	1962	ゼラチンシルバープリント
191	オシラさま	岡本太郎	1962	ゼラチンシルバープリント
192	出羽三山 羽黒山の松例祭	岡本太郎	1962	ゼラチンシルバープリント
193	青森 荒馬（金木町）	岡本太郎	1962	ゼラチンシルバープリント
194	那智火祭	岡本太郎	1963	ゼラチンシルバープリント
195	下古川	岡本太郎	1962	ゼラチンシルバープリント
196	高野山 天徳院庭園	岡本太郎	1955	ゼラチンシルバープリント
197	呼ぶA	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック
198	装飾	岡本太郎	1954	鉛筆、絵具、紙
199	原色卓	岡本太郎	1967	合板、金属
200	不明	岡本太郎	1982	絹
201	不明	岡本太郎	1970	絹
202	不明	岡本太郎	1960	絹
203	不明	岡本太郎	1965	絹
204	不明	岡本太郎	不明	絹
205	楽	岡本太郎	1982	絹
206	鳥	岡本太郎	1982	絹
207	不明	岡本太郎	1982	絹
208	不明	岡本太郎	1974	絹
209	不明	岡本太郎	1976	絹
210	不明	岡本太郎	1976	絹
211	不明	岡本太郎	1974	絹
212	不明	岡本太郎	1977	絹
213	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1968	陶磁
214	ティーテーブル遊び	岡本太郎	1967	木、金属

215	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
216	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
217	午後の日	岡本太郎	1967	ブロンズ
218	男の子	岡本太郎	不明	陶磁
219	女の子	岡本太郎	不明	陶磁
220	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
221	サイコロ椅子	岡本太郎	1957	籐
222	ほおずえ	岡本太郎	1968	布、金属、 繊維強化プラスチック
223	建設	岡本太郎	1956	油彩、キャンバス
224	月の壁	岡本太郎	1956/1991	繊維強化プラスチック
225	眼と眼コミュニケーション	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック
226	躍進	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
227	マミ会館	岡本太郎	1967	鉛筆、インク、紙
228	マミ会館	岡本太郎	1968	繊維強化プラスチック
229	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
230	ノン	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
231	太陽の塔	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
232	戦士	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
233	光る彫刻	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック、 ライト
234	明日の神話	岡本太郎	1968	油彩、キャンバス
235	五大陸	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
236	青い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
237	赤い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
238	眼の樹	岡本太郎	1978	油彩、キャンバス
239	疾走する眼	岡本太郎	1992	油彩、キャンバス
240	眼と眼	岡本太郎	1992	油彩、キャンバス
241	ひそやかな跳躍	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
242	呼ぶ	岡本太郎	1984	油彩、キャンバス
243	にらめっこ	岡本太郎	1978	油彩、キャンバス
244	顔IV	岡本太郎	1968	油彩、キャンバス
245	赤い顔	岡本太郎	1979	油彩、キャンバス
246	幻花	岡本太郎	1983	油彩、キャンバス
247	ツラ	岡本太郎	1983	油彩、キャンバス
248	マスク	岡本太郎	1985	油彩、キャンバス

249	挑み	岡本太郎	1980	油彩、キャンバス
250	目の立像	岡本太郎	1981	油彩、キャンバス
251	にらめっこ	岡本太郎	1980	油彩、キャンバス
252	面	岡本太郎	1975	油彩、キャンバス
253	未来を見た	岡本太郎	1971	油彩、キャンバス
254	よろこび	岡本太郎	1982	油彩、キャンバス
255	眼	岡本太郎	1985	油彩、キャンバス
256	マラソン	岡本太郎	1964	油彩、キャンバス
257	こどもの樹	岡本太郎	1985	繊維強化プラスチック
258	樹霊Ⅱ	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
259	樹霊Ⅰ	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
260	瑞鳥	岡本太郎	1987	繊維強化プラスチック
261	愛撫	岡本太郎	1964	油彩、キャンバス
262	予感	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
263	縄文人	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック
264	夢の樹	岡本太郎	1983	繊維強化プラスチック
265	動物	岡本太郎	1983	繊維強化プラスチック
266	若い夢	岡本太郎	1974	繊維強化プラスチック
267	河童	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
268	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミ、コンクリート、 金属、ライト
269	栄光	岡本太郎	1976	繊維強化プラスチック
270	若い太陽の塔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
271	遭遇	岡本太郎	1981	油彩、キャンバス

「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」展

会 期	2023年10月14日(土)～2024年1月14日(日)
開催日数	74日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
観 覧 料	一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	20,259名
1日平均	274名
図 録	B5
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	34点
担 当 者	片岡香、細川茉莉香



チラシ



図録



展示風景

■開催趣旨■

当館では、本賞の受賞作家による選抜展を「TARO 賞の作家」というシリーズで開催しています。シリーズの第3回となる本展では、「境界」をテーマに内海聖史、大西康明、若木くるみの3名の作品を展示。

絵画は画面だけで完結するものではなく、空間の中にさまざまに配置することで、観る者の動きや感覚に働きかけるものとして、絵画のあり方を問いかける内海聖史。「あること」と「ないこと」の関係性を、一貫したテーマとして作品を制作する大西康明。森や波などの自然や日用品など、私たちの身の回りにある多様な素材を使い、版画の可能性を探った若木くるみ。

この数年、世界のさまざまな「境界」がかつてないほど揺らぎ、分断され、強く意識されるようになりました。本展は、作家が紡ぐ様々な「境界」によって、私たちが自己の存在や自分を取り囲む世界について再考し、新たな視点を得るための手がかりとする試みでした。

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

「境界」を問う TARO 賞の作家3人の企画展『朝日新聞』 夕刊 2023年12月5日(火)号

「TARO 賞の作家Ⅲ 受賞後の作品を紹介」『神奈川新聞』 2023年11月6日(月)号

「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」『美術の杜 Vol.63』 星雲社、2024年1月10日 Autumn & Winter 号

「境界を越えた挑戦 TARO 賞作家の3人を紹介」『東京新聞』 2023年10月16日(月)号

「片桐 仁さん 岡本太郎さんは人生の師」『モード・オブティーク Vol.56』 ワールドフォトプレス、2023年12月18日

「TARO 賞の作家を紹介」『ミスモ』 株式会社インクループ、2023年11月号

■関連事業■

・「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」展 ギャラリートーク

担当学芸員によるギャラリートークを行いました。

日 時 2023年12月9日(土) 14:00~15:00

場 所 企画展示室

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 33名

・「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」展 リレートーク

出品作家3人によるリレートークを行いました。

日 時 2023年11月2日(木) 15:00~16:30

場 所 企画展示室

出 演 内海聖史、大西康明、若木くるみ

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 84名



・若木くるみワークショップ「刷りとれ! 生田緑地の凸凹探索」

出品作家の若木くるみさんと一緒に生田緑地の道を、フロッタージュを用いて刷りとるワークショップ。子どもから大人まで、お互いに会話をしながら手を動かし、普段はよく見ない地面の凹凸や周囲の環境を目と手を用いて観察しました。模造紙に刷りとった道路に、それぞれの手形や靴底をスタンプした完成品をギャラリースペースに展示。

日 時 2023年11月13日(金祝) 14:00~16:00

場 所 創作アトリエ、企画展示室

対 象 どなたでも

講 師 若木くるみ

料 金 300円+観覧料

参加人数 12名



・内海聖史ワークショップ「そこにあるわけではない」

出品作家の内海聖史さんとともに作品を制作し、展示するワークショップ。作家が用意したお題と描画材を参加者にランダムに配布。参加者は与えられたお題と画材を使い、内海さんの展示作品《そこにあるわけではない》に近いサイズの小さなキャンバスに描きました。作品の完成後、お題にそって参加者自身が展示室に作品を配置、参加者全員で鑑賞しました。展示室で見ている「絵画」の構造を理解し、絵画を作る、見る、見せる、とはどういうことかを考える機会になりました。

日 時 2023年11月19日(日) 14:00~16:00

場 所 創作アトリエ、企画展示室

対 象 どなたでも

講 師 内海聖史

料 金 300円+観覧料

参加人数 20名



■出品リスト■

No.	作品名	作家名	制作年	材質・形状	所蔵
1	カーキな視界/no. 2023-01	内海聖史	2023	油彩、水彩、キャンバス	作家蔵
2	dual/no. 2021-01	内海聖史	2021	油彩、水彩、キャンバス	作家蔵
3	カーキな視界/no. 2023-03	内海聖史	2023	油彩、水彩、キャンバス	作家蔵
4	squid/no. 2020-25	内海聖史	2020	油彩、水彩、キャンバス	作家蔵
5	遠くの絵画/no. 2019-29	内海聖史	2019	油彩、水彩、キャンバス	作家蔵
6	遠くの絵画/no. 2022-33	内海聖史	2022	油彩、水彩、キャンバス	作家蔵
7	遠くの絵画/no. 2017-16	内海聖史	2017	油彩、水彩、キャンバス	作家蔵
8	そこにあるわけではない	内海聖史	2023	油彩、水彩、キャンバス	作家蔵
9	日用版画シリーズ (No. 25～No. 42)	若木くるみ	～2023	和紙、その他	作家蔵
10	まな板の上のコイ	若木くるみ	2021	和紙、まな板	作家蔵
11	マチスの盆ダンス	若木くるみ	2023	和紙、盆	作家蔵
12	巻き寿司のつくり方	若木くるみ	2023	和紙	作家蔵
13	展開寿司	若木くるみ	2023	和紙	作家蔵
14	杓子定規な人	若木くるみ	2022	和紙、杓子	作家蔵
15	銀の匙	若木くるみ	2023	紙	作家蔵
16	版はSで版画はM	若木くるみ	2023	和紙、木枠(SM号)	作家蔵
17	真珠の耳かきの少女	若木くるみ	2022	和紙、耳かき	作家蔵
18	消しゴム版画	若木くるみ	2023	和紙、消しゴム	作家蔵
19	バウムクーヘン	若木くるみ	2023	和紙、鉛筆のお尻	作家蔵
20	色円筆	若木くるみ	2023	和紙、鉛筆の先っぽ	作家蔵
21	鉛筆を走らせる	若木くるみ	2023	和紙、鉛筆	作家蔵
22	竹取物語	若木くるみ	2023	和紙、竹	作家蔵
23	アキレスと亀	若木くるみ	2023	和紙、刷毛	作家蔵
24	1メートル走	若木くるみ	2023	和紙、1m定規	作家蔵
25	身体測定	若木くるみ	2023	和紙、定規	作家蔵
26	大当たり	若木くるみ	2023	紙、アイスの棒	作家蔵
27	美術の時間	若木くるみ	2023	和紙	作家蔵
28	版画道	若木くるみ	2023	和紙	作家蔵
29	影版	若木くるみ	2023	眼鏡、フライ返し、 トンカチ、虫眼鏡、 各自の持ち物、他	作家蔵
30	Prinruntng Machine	若木くるみ	2023	ランニングマシーン、布	作家蔵
31	チョコ版画	若木くるみ	2021	和紙、チョコレート	作家蔵

32	ひじょーーーーーうぐち	若木くるみ	2022	紙	作家蔵
33	版！	若木くるみ	～2023	動画	作家蔵
34	間に在る	大西康明	2023	ポリエチレンシート、 ファン、タイマー、その他	作家蔵

「第27回岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展

会 期	2024年2月17日(土)～ 4月14日(日)
開催日数	49日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般700(560)円、高・大学生・65歳以上500(400)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	16,854名
1日平均	344名(小数点以下、四捨五入)
図 録	リーフレットA5(無料配布)
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	22点
担 当 者	喜多春月、千村曜子、澤田愛理



リーフレット



チラシ



展示風景

■開催趣旨■

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で27回目をむかえる本賞では、621点の応募があり、創造性あふれる22組の作家が入選。また最終審査を経て、岡本太郎賞1名、岡本敏子賞1名、特別賞10名が決定しました。

■受賞者■

- 岡本太郎賞 つん《今日も「あなぐまち」で生きていく》
- 岡本敏子賞 三角瞳《This is a life. This is our life.》
- 特 別 賞 池田武史《Space X》
- 特 別 賞 長雪恵《きょうこのごろ》
- 特 別 賞 小山恭史《無明》
- 特 別 賞 クレメンタイン・ナット《POT PLANTS!》
- 特 別 賞 月光社《MUSAKARI》
- 特 別 賞 小山久美子《三月、常陸国にて鮫鯨を食ふ》
- 特 別 賞 ZENG HUIRU《BACK TO ME》
- 特 別 賞 タツルハタヤマ《小鳥のさえずりを聞くと、遠くで銃声が鳴り響いた》
- 特 別 賞 フロリアン・ガデン《Anomalies poétiques/詩的異常》
- 特 別 賞 村上力《學校》



つん
《今日も「あなぐまち」で生きていく》

■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

- 平綿裕一「「もう一つの世界」表現 4月まで展示会 第27回岡本太郎賞決定」『神奈川新聞』2024年2月18日
福地一之「岡本太郎賞つんさん 段ボールで空想の町表現 敏子賞に三角さん」『読売新聞』（川崎版）2024年2月18日
佐藤善一「TARO賞 充実の作品群」『朝日新聞』（神奈川版）2024年2月25日
「第27回岡本太郎現代芸術賞 受賞者が決定 岡本太郎賞につん『今日も「あなぐまち」で生きていく』」『月刊ギャラリー』2024年3月号
神宮桃子「驚きと可能性の芸術「大豊作」 岡本太郎現代芸術賞 前回から一転」『朝日新聞』2024年3月5日夕刊
「Art Topics 第27回岡本太郎現代芸術賞は、つんが受賞 受賞作は10年がかりで完成した800戸の団地！！」『月刊美術』2024年4月号
「REVIEW 高層団地建設中！まだまだ増える、つんと愉快的仲間たち 「第27回岡本太郎現代芸術賞」展より」『藝術新潮』2024年4月号
ケロッピー前田「TH RECOMMENDATION 多彩な表現方法で個人の内面を作品化、超独特な表現が爆発した展覧会 「第27回岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展レポート」『TH（ティーエイチ／トーキングヘッズ叢書）』2024年4月号
「NHK ニュース おはよう日本（関東甲信越）」NHK 総合 2024年3月19日

■関連事業■

・お気に入りを選ぼう

展示されている22点のTARO賞作品の中から、来館者がお気に入りの作品を選ぶイベント。1位の作品をオーディエンス賞とし、3位までにランクインした作家の皆さんに記念品を贈呈しました。受付で配布するカードにつけた赤いシールを、企画展示室出口にある投票ボードに貼って投票していただきました。

- 日 時 2024年2月17日(土)～3月17日(日)
場 所 ギャラリースペース
投票結果 1位 つん《今日も「あなぐまち」で生きていく》
2位 遅四グランプリ実行委員会《遅博 2024 一人類の進歩と遅延ー》
3位 野村 絵梨《垢も身のうち》



参加人数 4,845名

・お手紙プロジェクト

来館者が第27回TARO賞の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を手紙に書いてポストに投函しました。書かれた手紙はギャラリーの壁に展示され、作家から返事もらえることも。来館者と作家が手紙を通じてつながるプロジェクトです。

- 日 時 2024年2月17日(土)～3月17日(日)
場 所 ギャラリースペース



・リレートーク（全4回）

出品作家によるギャラリートークです。

- 日 時 ①2023年3月3日(日)、②3月17日(日)、③4月7日(日)、④4月14日(日)
作 家 全20組
①村尾かずこ、月光社、林楷人、横山豊蘭、長雪恵
②小山恭史、小山久美子、クレメンタイン・ナット
③遅四グランプリ実行委員会、GORILLA PARK、村上力、大河原健太、タツルハタヤマ、野村絵梨、
④フロリアン・ガデン、鈴木のぞみ、李函樽、横岑竜之、ZENG HUIRU、つん

料 金 無料（要観覧料）
参加人数 ①55人 ②52人 ③93人 ④93人

■出品リスト■

No. 作家名/作品名	素材・技法	作品サイズ (cm)
1 つん 《今日も「あなぐまち」で生きていく》	段ボール、ジェッソ、アクリル絵の具、アクリル板、レジン、色鉛筆、防水剤、水彩用紙、木材、ボンド、プラ板、毛糸、折り紙、糸、コピー用紙、石塑粘土、ホッチキス、建築模型用パウダー、布、イレクターパイプ、メタルジョイント、モニター、澱粉糊、ワイヤー、フローラルテープ、ボタン	450×400×250
2 三角 瞳 《This is a life. This is our life.》	ポリエステル	400×400×400
3 池田 武史 《Space X》	紙、アクリル絵具、クレヨン、木製パネル、人形、ビデオ等	300×500×500
4 長 雪恵 《きょうこのごろ》	シナベニヤ、マーカー、クレヨン、色鉛筆、水彩、机、椅子	500×500×500
5 小山 恭史 《無明》	布、木材、LED	500×500×20
6 クレメンティン・ナット 《POT PLANTS!》	ジュート、厚紙	250×462×372
7 月光社 《MUSAKARI》	テラコッタ、粘土、レース、包帯	400×120×120
8 小山 久美子 《三月、常陸國にて鮫鯨を食ふ》	アクリル、キャンバス、パネル	162×448
9 ZENG HUIRU 《BACK TO ME》	陶磁器、針金、金属	300×400×180
10 タツルハタヤマ 《小鳥のさえずりを聞くととき、遠くで銃声が鳴り響いた》	紙にアクリル絵の具、木炭、アクリルインク、スプレー、パステル、オイルパステル	500×500×500
11 フロリアン・ガデン 《Anomalies poétiques/詩的異常》	紙、水彩、墨、ガッシュ	282×228
12 村上 力 《学校》	麻布、樹脂、漆、木、発砲スチロール、塗料、机、椅子、本 他	430×450×450
13 大河原 健太 《文字前夜 -火水風土-》	紙、インク	118.9×450
14 遅四グランプリ実行委員会 《遅博 2024 -人類の進歩と遅延-》	ミクストメディア（ミニ四駆、アート、工芸、映画、音楽、文学、食、服飾、漫画、落語、伝統文化、他）	500×500×500
15 GORILLA PARK 《Relief-1, Relief-2, Relief-3, Relief-4》	木、岩絵具	157×430×8
16 鈴木 のぞみ 《Light of Other Days:吉田理容室》	解体された理容室の鏡、窓、扉、時計、額縁、写真乳剤	260×500×500
17 野村 絵梨 《垢も身のうち》	スタイロフォーム、軽量パテ、ウレタン塗料	500×500×500
18 林 楷人 《調和の剥き出し》	岩絵具、膠、麻紙、鏡、復刻版画、他	325×500×500
19 村尾 かずこ 《サザエハウス -Village-》	貝殻、ワイヤーメッシュ、金網、セメント、漆喰、ガラス、テグス	370×400×400
20 横岑 竜之 《ハッピーモンスター》	キャンバス、アクリル絵の具、樹脂、プラスチック、ぬいぐるみ、木材、いろいろ	500×500×500
21 横山 豊蘭 《トロトロ遺跡》	墨、新聞紙、画仙紙、ペンキ、写真、石、木材、缶詰	500×500×300
22 李 函樽 《無から来る、無故に集う》	洋紙、古書、発砲スチロール、のり、電気	200×172×156

2. 常設展

「岡本太郎と太陽の鳥」展

会 期	2023年4月20日(木)～7月2日(日)
開催日数	63日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	120点
担 当 者	富永ももこ



ポスター・チラシ

■開催趣旨■

動物を飼う、ということを好まなかった岡本太郎が、「わが窮極の友」として愛したのがカラスの「ガア公」でした。カラスの各々が独立し集団に規制されないというあり方を理想的な生き方と考えていた岡本が、ガア公と共に暮らした1959年からの数年間は、二科会を脱退したころと重なっています。集団から離れ個の芸術家として歩む自分の姿を、ガア公に投影していたのかもしれませんが。本展では、タイトルに鳥を冠する作品から、くちばしや羽のようなものが描きこまれた作品、また画家としての転機でもあった、ガア公と過ごしたころの作品を展示しました。

また、2022年7月に開幕し、大阪・東京・愛知と巡回した「展覧会 岡本太郎」に出品された、当館所蔵の岡本太郎の代表作もあらためて紹介しました。

■関連イベント■

・学芸員によるワンポイントトーク

日 時	2023年6月10日(土) 14:00～14:30
場 所	常設展示室
参加人数	65名

■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	月の顔	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
2	太陽の塔	岡本太郎	1970	コンクリート、 繊維強化プラスチック
3	チャンスン	岡本太郎	1977	ゼラチン・シルバープリント
4	遭遇	岡本太郎	1981	油彩、キャンバス
5	天空に我あり	岡本太郎	1967	油彩、キャンバス
6	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁
7	瑞鳥	岡本太郎	1987	繊維強化プラスチック
8	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
9	夢の鳥	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
10	青空	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
11	クリマ	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
12	ふたり	岡本太郎	1962	紙、油彩
13	神女	岡本太郎	1962	紙、油彩

14	風	岡本太郎	1962	紙、油彩
15	視る	岡本太郎	1974	版画、紙、絵具
16	愛	岡本太郎	1981	版画、紙、絵具
17	至上命令	岡本太郎	1988	版画、紙、油絵具
18	まひる	岡本太郎	1988	版画、紙、油絵具
19	瑞鳥	岡本太郎	1987	繊維強化プラスチック
20	ノン	岡本太郎	1962	紙、油彩
21	斉唱	岡本太郎	1962	紙、油彩
22	リョウラン	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
23	風神	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
24	こどもの時間	岡本太郎	1975	繊維強化プラスチック
25	黒い生き物	岡本太郎	1961	紙、油彩
26	アドレッサン	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
27	赤	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
28	飛ぶ眼	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
29	リョウラン	岡本太郎	1989	繊維強化プラスチック
30	エクセホモ	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
31	ひそやかな跳躍	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
32	黒い生きもの	岡本太郎	1961	油彩、キャンバス
33	疾走する眼	岡本太郎	1992	油彩、キャンバス
34	海辺の肖像	岡本太郎	1973	油彩、キャンバス
35	傷ましき腕	岡本太郎	1936/1949	油彩、キャンバス
36	夜	岡本太郎	1947	油彩、キャンバス
37	ノン	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
38	動物	岡本太郎	1959	コンクリート
39	青い風	岡本太郎	1962	紙、油彩
40	太陽の塔 立面図	岡本太郎	不明	トレーシングペーパー、鉛筆
41	生命の樹・生物スケッチ	岡本太郎	不明	トレーシングペーパー、 インク、鉛筆
42	午後の日	岡本太郎	1967	ブロンズ
43	眼と眼—コミュニケーション	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック
44	躍進	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
45	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
46	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
47	飛行船《レインボー号》	岡本太郎	1973	繊維強化プラスチック
48	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
49	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
50	手の椅子	岡本太郎	1997	繊維強化プラスチック
51	駄々っ子	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
52	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶器
53	顔の椅子	岡本太郎	1953	木
54	ティーテーブル 遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
55	まどろみ	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック、 布、金属
56	顔のスピーカー	岡本太郎	1971	布、木、 繊維強化プラスチック

57	トランプ	岡本太郎	1977	紙
58	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
59	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
60	神話	岡本太郎	1980	金属
61	月の顔	岡本太郎	1990	鉄
62	太陽の顔	岡本太郎	不明	アルミニウム
63	ひとみ	岡本太郎	1980	ガラス
64	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
65	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
66	顔	岡本太郎	1977	陶磁
67	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
68	河童像	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
69	赤い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
70	青い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
71	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ
72	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミ、コンクリート、金属、ライト
73	こどもの樹	岡本太郎	1985	繊維強化プラスチック
74	誇り	岡本太郎	1962	繊維強化プラスチック
75	愛	岡本太郎	1961	繊維強化プラスチック
76	喜び	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
77	樹人	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
78	歓喜	岡本太郎	1977	陶磁
79	横たわる	岡本太郎	1981	陶磁
80	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
81	飛翔	岡本太郎	1977	陶磁
82	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
83	渾沌	岡本太郎	1979	陶磁
84	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1984	アルミ
85	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
86	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
87	国鉄民営化記念オリジナルメダル 《出発》	岡本太郎	1987	銀
88	トランプ	岡本太郎	1977	紙
89	いのち	岡本太郎	1986	アルミ
90	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
91	日本海博覧会	岡本太郎	1973	金属
92	不明	岡本太郎	不明	金属
93	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
94	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
95	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
96	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ
97	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
98	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
99	顔	岡本太郎	1990	ガラス
100	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス

101	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
102	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
103	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	布
104	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
105	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
106	顔	岡本太郎	1978	革
107	不明（スカーフ）	岡本太郎	1975	シルクシフォン
108	白梅	岡本かの子	1929年以降	絹、墨
109	観音経	岡本かの子	不明	紙
110	『赤い鳥』		1920年発行	書籍（出版：赤い鳥社）
111	ある夫婦の六態・浮世六態	岡本一平	不明	墨、絵具、紙
112	三政治家の肖像	岡本一平	不明	墨、紙

「岡本太郎とスポーツ」展

会 期	2023年10月5日(木)～2024年1月14日(日)
開催日数	69日
観 覧 料	一般 500(400)円、高大学生・65歳以上 300(240)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	115点
担 当 者	喜多春月



ポスター・チラシ

■開催趣旨■

当館で保管している岡本太郎の写真を眺めていると、岡本が野球やゴルフなどのスポーツに興じている姿をときおり目にします。特に、岡本自身が46歳で始めたと言うスキーについては、瞬間瞬間に命を懸けて斜面に身を投げ出す緊張感の虜になり、毎シーズン制作や執筆などの忙しい日々を縫って雪山に通ったとのこと。雪山を前にひとりで「危険に向かい勇気をもって己れをひらく」*姿勢は、芸術や生き方に対する岡本の指針と共通するものがあります。

本展では、「岡本太郎とスポーツ」をテーマに、岡本が競技場等のために手掛けた作品や、岡本にとっての「スポーツ」にまつわる作品を紹介し、当館ならではの「スポーツの秋」をお楽しみいただきました。展示は全4章構成で、「第1章 岡本太郎、スポーツに挑む ―オリンピックへの熱」では、東京オリンピックが開催された1964年頃の作品や岡本が手掛けたオリンピックの参加記念メダルのデザイン等をご紹介します。「第2章 岡本太郎、スポーツに挑む ―肉体との対決」では、岡本がデザインしたスポーツ用品や、岡本の愛用品を展示。また、岡本自身がスポーツに興ずる姿も映像でご紹介しました。「第3章 『人生、即“遊び”』』では「挑戦」をキーワードに岡本の代表作を、「第4章 みんなでスポーツ」では競技場等に設置されたパブリックアートの原型を展示しました。

*岡本太郎『岡本太郎の挑戦するスキー』（講談社、1977年）、22頁。

■関連イベント■

・担当学芸員によるワンポイントトーク

日 時	2023年11月25日(日) 14:00～14:30
場 所	企画展示室
参加人数	26名

■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	千手	岡本太郎	1975	アルミニウム
2	呼ぶ	岡本太郎	1964	油彩、キャンバス
3	愛撫	岡本太郎	1964	油彩、キャンバス
4	跳ぶ	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
5	歓喜	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
6	ひそやかな跳躍	岡本太郎	1963	油彩、キャンバス
7	マラソン	岡本太郎	1964	油彩、キャンバス
8	東京オリンピック参加記念メダル	岡本太郎	1964	ブロンズ
9	東京オリンピック参加記念メダル	岡本太郎	1964	繊維強化プラスチック

10	札幌オリンピック冬季大会 記念メダル	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
11	札幌オリンピック冬季大会 記念メダル	岡本太郎	1972	ブロンズ
12	オリンピックミュンヘン 大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	鉛筆、紙
13	栄光	岡本太郎	1972	プラスチック
14	オリンピックミュンヘン 大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
15	オリンピックミュンヘン 大会公式参加メダル	岡本太郎	1972	ブロンズ
16	マラソン	岡本太郎	1964	墨、紙
17	マラソン	岡本太郎	1964	墨、紙
18	水火清風	岡本太郎	1995	陶磁
19	装える戦士	岡本太郎	1988	リトグラフ、絵具、紙
20	太陽	岡本太郎	1981	リトグラフ、絵具、紙
21	顔	岡本太郎	1988	リトグラフ、絵具、紙
22	手の顔	岡本太郎	1978	油彩、キャンバス
23	神話	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック
24	スツール	岡本太郎	1967	布、アルミニウム
25	子どもの時間	岡本太郎	1975	繊維強化プラスチック
26	岡本太郎が使用していた スポーツ用具一式			
27	ブリザード ウィザード	岡本太郎	不明	グラスファイバー
28	カザマ スペシャル コンビ ネーションモデル	岡本太郎	不明	木
29	風	岡本太郎	1972	油彩、キャンバス
30	草津スキー場	岡本太郎	1970	旗
31	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	旗
32	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	ペナント
33	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	Tシャツ
34	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	野球帽
35	『近鉄バファローズV1 への歩み—球団三十年史』		1980 発行	書籍
36	FUU TARO ユニフォーム帽子	岡本太郎	不明	野球帽
37	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
38	五大陸	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
39	記念撮影	岡本太郎	1975	油彩、キャンバス
40	踊り	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック
41	あしあと広場	岡本太郎	1978	繊維強化プラスチック
42	敗惨の歎き	岡本太郎	1925	水彩絵具、紙
43	母と子	岡本太郎	1955	鉛筆、絵具、紙
44	大玉送り	岡本太郎	1968	インク、墨、紙
45	大玉送り	岡本太郎	1968-1969	インク、墨、紙 ※
46	太陽の塔	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
47	森の掟	岡本太郎	1950	油彩、キャンバス
48	空間	岡本太郎	1934/1954	油彩、キャンバス
49	挑む	岡本太郎	1980	墨、絵具、紙 /屏風（四曲一隻）

50	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ
51	ハンネス・シュナイダー 記念碑	岡本太郎	1974	繊維強化プラスチック
52	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
53	駄々っ子(椅子)	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
54	手の椅子	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
55	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
56	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
57	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
58	花びらの椅子	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
59	夜の会合	岡本太郎	1973	油彩、キャンバス
60	女	岡本太郎	1962	油彩、紙
61	ふたり	岡本太郎	1962	油彩、紙
62	信州野沢温泉 湯	岡本太郎	不明	ネクタイ
63	湯	岡本太郎	不明	シルクサテン
64	ティーテーブル 遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
65	顔の椅子	岡本太郎	1953	木
66	まどろみ	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック、 布、金属
67	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
68	あし	岡本太郎	1978	ガラス
69	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
70	手の灰皿	岡本太郎	1979	ガラス
71	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ
72	喜び	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
73	躍動の門	岡本太郎	1993	繊維強化プラスチック
74	乙女	岡本太郎	1988	繊維強化プラスチック
75	躍動	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
76	動物	岡本太郎	1959	コンクリート
77	黒い顔	岡本太郎	1968	繊維強化プラスチック
78	河童像	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
79	樹人	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
80	スモーキングセット	岡本太郎	1952	陶器
81	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
82	飛翔	岡本太郎	1977	陶磁
83	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
84	横たわる	岡本太郎	1981	陶磁
85	不明	岡本太郎	1964	ガラス、絵具
86	日中テレビ祭 日本代表団 メダル	岡本太郎	1984	アルミ
87	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
88	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
89	国鉄民営化記念オリジナル メダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
90	トランプ	岡本太郎	1977	紙
91	いのち	岡本太郎	1986	アルミ
92	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
93	日本海博覧会	岡本太郎	1973	金属
94	不明	岡本太郎	不明	金属

令和5年度 I. 事業報告 2. 常設展「岡本太郎とスポーツ」展

95	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
96	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
97	顔	岡本太郎	1977	陶磁
98	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
99	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
100	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ
101	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
102	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
103	顔	岡本太郎	1990	ガラス
104	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
105	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
106	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
107	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
108	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	布
109	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
110	顔	岡本太郎	1978	革
111	イカダ流し	岡本一平	不明	墨、絵具、紙/色紙
112	藤村いろは歌留多	画:岡本一平/ 文:島崎藤村	1927/1980	紙
113	漫画色紙	岡本一平	不明	紙、墨、鉛筆
114	老妓抄 川	作:岡本かの子/ 表紙装丁:岡本太郎	発行:1986	書籍
115	猟師	岡本一平	不明	墨、絵具、和紙/軸装

※は寄託作品

「人のかたち：岡本太郎の人体表現」展

会 期	2024年1月20日（土）～4月14日（日）
開催日数	73日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	127点
担 当 者	佐藤玲子



ポスター・チラシ

■開催趣旨■

原色の鮮やかさやテーマ性が強い作品であるため、“人物を描く”という印象があまりない岡本太郎ですが、初期のパリ時代から晩年まで、描かれているテーマや中心的なモチーフの多くは、人のすがたや顔、眼、その内面を含めた人間の在りようです。絵の中に描き出された人々の姿は、オーソドックスな具象的な描写から、ユーモラスに擬人化されたキャラクター、ピクトグラムのように記号化されたものまで、制作時期によってさまざまに変遷しています。また絵画だけでなく、《太陽の塔》をはじめとする立体やモニュメントのモチーフにも、人の姿をかたどった作品はじつはとても多いのです。

初期の代表作《傷ましき腕》から展開していったパリ時代の消失作品の流れも含めて、岡本太郎が描いた人のかたち、表現のヴァリエーション、その幅の広さにもぜひご注目してください。

■関連イベント■

・担当学芸員によるワンポイントトーク

日 時	2024年①3月10日（日）、②4月13日（土） 各日 14:00～14:30
場 所	常設展示室
参加人数	①90名、②30名

■関連イベント■

・蘇るVR 太陽の塔 Ver.6

大阪万博で岡本太郎が制作した《太陽の塔》は、彼の代表作品として知られ、現在でも多くの人びとに親しまれています。今回のイベントは、日本工業大学の学生が製作、再現した1970年当時の《太陽の塔》VRを見学するものです。3D映像を会期中（1月20日～4月14日）に常設展示室出口付近にてモニターで上映し、VRゴーグルを装着した体験イベントについては、2日に渡って開催しました。

VR体験日程：2024年3月①9日（土）②10日（日） 11:00～17:00

場 所	ガイダンスホール
料 金	無料（要観覧料）
協 力	日本工業大学 情報メディア工学科
参加人数	①53名 ②76名（当日受付）



■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	歓び	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック
2	夏の夜（消失作品）	岡本太郎	1937	写真パネル（復刻）
3	幸なき楽園（消失作品）	岡本太郎	1936	写真パネル（復刻）
4	作家（消失作品）	岡本太郎	1936-1937	写真パネル（復刻）
5	作家	岡本太郎	1948	油彩、キャンバス
6	リボン（消失作品）	岡本太郎	1935	写真パネル（復刻）
7	リボンを結んだ女（消失作品）	岡本太郎	1935	写真パネル（復刻）
8	『OKAMOTO』 G. L. M 社出版	岡本太郎	1937	書籍
9	傷ましき腕	岡本太郎	1936/1949	油彩、キャンバス
10	夜	岡本太郎	1947	油彩、キャンバス
11	女	岡本太郎	1962	紙、油彩
12	髪の毛の長い女	岡本太郎	1962	紙、油彩
13	遊ぶ子	岡本太郎	1962	紙、油彩
14	立つ人	岡本太郎	1962	紙、油彩
15	神女	岡本太郎	1962	紙、油彩
16	顔	岡本太郎	1962	紙、油彩
17	ふたり	岡本太郎	1962	紙、油彩
18	青い顔	岡本太郎	1962	紙、油彩
19	二人	岡本太郎	1962	紙、油彩
20	二人	岡本太郎	1948	油彩、キャンバス
21	美女と野獣	岡本太郎	1949	油彩、キャンバス
22	海辺	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
23	黒い太陽	岡本太郎	1949	油彩、キャンバス
24	遊ぶ子	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
25	喫煙者	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
26	まひるの顔	岡本太郎	1948	油彩、キャンバス
27	樹人	岡本太郎	1951	油彩、キャンバス
28	子どもの時間	岡本太郎	1975	繊維強化プラスチック
29	建設	岡本太郎	1956	油彩、キャンバス
30	重工業	岡本太郎	1949	油彩、キャンバス
31	青空	岡本太郎	1954	油彩、キャンバス
32	マスク	岡本太郎	1959	油彩、キャンバス
33	装える戦士	岡本太郎	1962	油彩、キャンバス
34	顔	岡本太郎	1952	陶磁

35	裂けた顔	岡本太郎	1960	油彩、キャンバス
36	哄笑	岡本太郎	1972	油彩、キャンバス
37	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
38	スツール	岡本太郎	1967	アルミニウム、布
39	母と子	岡本太郎	1955	鉛筆、紙、絵具
40	眼と眼	岡本太郎	1977	紙、絵具
41	風神	岡本太郎	1977	紙、絵具
42	石と樹	岡本太郎	1977	紙、絵具
43	太陽の塔	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
44	マラソン	岡本太郎	1964	油彩、キャンバス
45	赤い顔	岡本太郎	1979	油彩、キャンバス
46	よろこび	岡本太郎	1982	油彩、キャンバス
47	森の家族	岡本太郎	1983	油彩、キャンバス
48	眼の立像	岡本太郎	1981	油彩、キャンバス
49	動物	岡本太郎	1959	コンクリート
50	天に舞う	岡本太郎	1974	繊維強化プラスチック
51	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
52	躍進	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
53	駄々っ子（椅子）	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
54	手の椅子	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック
55	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
56	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
57	午後の日	岡本太郎	1967	陶磁
58	歩く人	岡本太郎	1952	油彩、キャンバス
59	花ひらく	岡本太郎	1958	紙、絵具
60	火の接吻	岡本太郎	1970	陶磁、プラスチック
61	手の灰皿	岡本太郎	1979	ガラス
62	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
63	顔の椅子	岡本太郎	1953	木
64	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
65	あし	岡本太郎	1978	ガラス
66	不明（スカーフ）	岡本太郎	1976	シルクサテン
67	まどろみ	岡本太郎	1967	繊維強化プラスチック、 布、金属
68	ティーテーブル 遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
69	梵鐘・歓喜	岡本太郎	1965	ブロンズ
70	樹人	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック

71	女神像	岡本太郎	1979	繊維強化プラスチック
72	こどもの樹	岡本太郎	1985	繊維強化プラスチック
73	踊り	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック
74	栄光	岡本太郎	1976	繊維強化プラスチック
75	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミ、コンクリート、 金属、ライト
76	河童像	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
77	黒い顔	岡本太郎	1968	繊維強化プラスチック
78	青い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
79	赤い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
80	聴く	岡本太郎	1987	陶磁
81	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
82	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
83	むすめ	岡本太郎	1967	陶磁
84	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
85	歩み	岡本太郎	1967	陶磁
86	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
87	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
88	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
89	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
90	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
91	男の子	岡本太郎	不明	陶磁
92	女の子	岡本太郎	不明	陶磁
93	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
94	健康絵馬《太陽》《龍》	岡本太郎	1987	木
95	喜	岡本太郎	1984	紙、木、漆
96	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁
97	顔	岡本太郎	1978	皮
98	生々流転	著者：岡本かの子 装幀：岡本太郎	1940	書籍
99	ひな人形飾り	岡本一平	不明	絹、墨、絵具/屏風
100	ある夫婦の六態・浮世六態	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
101	チャップリンせんべい	岡本一平	不明	紙、絵具
102	佐賀昭子	岡本太郎	不明	和紙、墨/色紙
103	不明	岡本太郎	不明	和紙、墨/色紙
104	24歳の村上善男	岡本太郎	1956	和紙、墨/色紙
105	白梅	岡本かの子	1929以降	絹、墨
106	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1984	アルミ

107	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
108	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
109	国鉄民営化記念 オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
110	トランプ	岡本太郎	不明	紙
111	いのち	岡本太郎	1986	アルミ
112	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
113	日本海博覧会	岡本太郎	1973	銀
114	不明	岡本太郎	不明	金属
115	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
116	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
117	顔	岡本太郎	1952	陶磁
118	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
119	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
120	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ

3. 協力企画展・イベント

九州芸文館開館10周年記念展

「岡本太郎の写真 日本を見つめる眼」

会 場	九州芸文館
会 期	2023年10月28日(土)～12月3日(日)
主 催	九州芸文館美術展実行委員会
主 催	西日本新聞社
特別協力	川崎市岡本太郎美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
貸出点数	岡本太郎作品26点、岡本太郎撮影写真93点、資料他



チラシ

「超凱旋！タローマン」

「展覧会岡本太郎」（令和4年度に大阪、東京、愛知を巡回）の会期中に、展覧会の関連番組としてNHKで放送された「TAROMAN」。撮影に使用された着ぐるみや小道具などを展示しました。

会 場	岡本太郎美術館 1F 無料展示スペース
展示期間	2023年7月8日(土)～8月31日(木)、
主 催	NHK 横浜放送局、川崎市
協 力	川崎市岡本太郎美術館
観 覧	入場自由、無料
展示期間の入館者数	32,247人（1日平均686人）



ポスター・チラシ

・「超凱旋！タローマン」関連企画

「超撮影会！タローマン」

「超凱旋！タローマン」の関連イベントとして、タローマンとの撮影会を行いました。

「TAROMAN」の脚本・演出を担当した藤井亮さんにもサインをしていただきました。

会 場	岡本太郎美術館 ガイダンスホール
主 催	NHK 横浜放送局、川崎市
協 力	川崎市岡本太郎美術館
出 演	タローマン、藤井亮
日 時	2023年8月17日(木) 1回目 11:00～、2回目 13:30～、3回目 15:30～ (各回定員50組)

1回目：参加50組（158人）、応募倍率約6.7倍

2回目：参加50組（132人）、応募倍率約5倍

3回目：参加47組（127人）、応募倍率約5.8倍



チラシ

「TAROMAN」上映会

展示期間中の美術館のガイダンスホールにてNHKの番組「TAROMAN」（全10回）を上映しました。（展覧会関連イベント開催日等を除く毎日）

上映会参加人数：5,548人

「ジュニアガイド」配布・配架

- ・川崎市内の全公立小・中学校に通う児童約46,000人に配布
- ・川崎市役所経由で市役所、各区役所、図書館、市民館へ1,000部配架
- ・川崎市岡本太郎美術館で13,000部配架



ジュニアガイド

4. 収集・保存・貸出

収集作品及び資料（購入）

作者名	作品名	購入元	摘要
岡本太郎	《光る彫刻》(小) 繊維強化プラスチック	株式会社 良品計画 イデーショップ自由が丘店	1点
岡本かの子草稿	《異国春色抄》 紙にインク	玉英堂書店	1点
岡本かの子賛、岡本一平画	《短冊（カンナ）》 紙本着彩	森井書店	1点
岡本一平画	《第十回春陽会展ポスター》 印刷物	えびな書店	1点

作品修復

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
行く人	岡本太郎	1962	油彩	1000042	既存の額をはずし、新たな額装を行った	有限会社 メセナ
黒い顔	岡本太郎	1963	油彩	1000051		
招待	岡本太郎	1976	油彩	1000055		
呼ぶ	岡本太郎	1984	油彩	1000112		
二人	岡本太郎	1985	油彩	1000115		
母の塔	岡本太郎	1999	シンボル タワー		塔内部現状調査、排水口清掃、漏水点検（人型パーツ接合部等）	有限会社 ブロンズ スタジオ

貸出作品及び資料

本年度貸出作品：6件、140点

作品名	作家名	制作年	分類	展覧会名／会期・会場
具現	岡本太郎	1961	油彩	「顕神の夢」展 (当館での展示後巡回) 2023年7月2日～8月17日：足利市立美術館 2023年8月26日～10月15日：久留米市美術館 2023年10月21日～12月24日：町立久万美術館 2024年1月5日～2月25日：碧南市藤井達吉現代美術館
千手	岡本太郎	1965	油彩	
誘う	岡本太郎	1982	油彩	特別展「縄文⇄現代～共鳴する美のかたち」 2023年7月15日～9月3日 苫小牧市美術博物館
午後の日	岡本太郎	1967	彫刻	

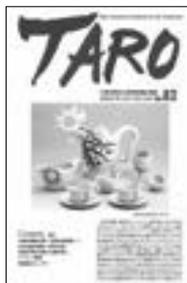
手の椅子	岡本太郎	1967	インダストリアル	「岡本太郎 アートの夢 ～陶壁・陶板・21世紀のフィギュア造形」展 パート1:2023年7月15日～9月24日 パート2:2023年9月30日～12月18日 滋賀県立陶芸の森陶芸館
サイコロ椅子 (2点)	岡本太郎	1957	インダストリアル	
ティーセット夢の鳥	岡本太郎	1977	インダストリアル	
顔の時計	岡本太郎	1967	インダストリアル	
漱石八態	岡本一平	制作年 不明		「芥川龍之介と美の世界 二人の先達 —夏目漱石、菅虎雄」展 2023年10月28日～2024年1月28日: 久留米市美術館 2024年2月10日～4月7日: 神奈川県立近代美術館 葉山
横山はるひバレエ公演 『河童』ポスター	北代省三 デザイン	1951	ポスター	
二つの顔	岡本太郎	1957	油彩	九州芸文館開館10周年記念展 「岡本太郎の写真—日本を見つめる眼」 2023年10月28日～12月3日 九州芸文館
裂けた顔	岡本太郎	1960	油彩	
風神	岡本太郎	1961	油彩	
創生	岡本太郎	1963	油彩	
空間	岡本太郎	1973	版画	
メタモルフォーズ	岡本太郎	1960	版画	
未来を見た	岡本太郎	1975	版画	
午後の日	岡本太郎	1967	彫刻	
太陽の塔	岡本太郎	1970	彫刻	
顔	岡本太郎	1952	彫刻	
犬の植木鉢	岡本太郎	1955	彫刻	
飛行船 レインボー号	岡本太郎	1973	彫刻	
歓喜	岡本太郎	1977	陶器	
混沌	岡本太郎	1979	陶器	
無邪気	岡本太郎	1981	陶器	
マスク (3点)	岡本太郎	1970	レリーフ	
未来を拓く	岡本太郎	1967	インダストリアル	
顔のグラス	岡本太郎	1976	インダストリアル	
坐ることを拒否する椅子 (3点)	岡本太郎	1963	インダストリアル	
手の椅子	岡本太郎	1967	インダストリアル	
花びらの椅子	岡本太郎	1970	インダストリアル	
岡本太郎撮影写真 93点	岡本太郎		写真	

『日本発見-藝術風土記 (新潮社)』	岡本太郎	1958	資料	九州芸文館開館10周年記念展 「岡本太郎の写真—日本を見つめる眼」 2023年10月28日～12月3日 九州芸文館
『忘れられた日本 沖縄文化論』 (中央公論社)	岡本太郎	1961	資料	
『みづゑ』1952年2月号		1952	資料	
岡本太郎旧蔵カメラ(2点)			資料	
笑い	岡本太郎	1952	彫刻	第8回横浜トリエンナーレ 「野草：いま、ここで生きてる」展 2024年3月15日～6月9日 横浜美術館
岡本太郎撮影写真(縄文土器2点)	岡本太郎		写真	
『日本の伝統』(光文社)	岡本太郎	1956	資料	
『みづゑ』1952年2月号		1952	資料	

5. 情報・刊行物

刊行物

刊行物名	サイズ	内容	発行部数
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」MUSEUM NEWS Vol. 82、83、84、85	21×13.5 (cm) 三つ折	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展案内 ・常設展案内 ・イベント報告 ・美術館カレンダー ・美術館利用案内 	15,000部 (各5,000部発行)
令和4年度 川崎市岡本太郎美術館年報 当館ホームページにて、PDF版の閲覧が可能 https://www.taromuseum.jp/report.html	A4版	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告 (企画展、常設展、共催・協力企画展、収集・保存・貸出、情報・刊行物、教育・普及事業、美術館協議会、資料収集・評価委員会) ・資料 (入館者数統計、美術館事業予算・決算概要) ・組織名簿 ・美術館概要 ・美術館条例・規則 	300部



令和4年度

川崎市岡本太郎美術館年報

美術館ニュース「TARO」 Vol. 82、83、84、85

6. 教育・普及事業 イベント・ワークショップ

・TARO 鯉にいどむ！ in ラゾーナ川崎プラザ

日 時 2023年4月9日(日) ①10:00～11:30 ②12:30～14:00 ③15:00～16:30

展示日程 2023年4月18日(火)～5月7日(日)

内 容 今回で4回目となった、川崎駅に隣接しているラゾーナ川崎プラザでの、出張ワークショップ「TARO 鯉に挑む！」を行いました。太郎鯉や子ども達のつくったカラフルな鯉のぼりに誘われて、親子で楽しく制作する様子が見受けられました。展覧会ポスターなどを掲示し、普段、美術館に行く機会が少ない方達にも、岡本太郎美術館に興味をもつきっかけになりました。



場 所 ラゾーナ川崎プラザ 5階 野外スペース

料 金 無料

参加人数 ①子ども20名(保護者26名) ②子ども21名(保護者14名) ③子ども20名(保護者21名)(当日受付)

・TARO 鯉にいどむ！ 2023

日 時 2023年4月23日(日)、30日(日) 各日①10:00～12:00 ②13:30～15:30

展示日程 2023年5月3日(水祝)～5月7日(日)

内 容 大人気の恒例イベントです。常設展の作品をはじめ、屋外に展示している《TARO 鯉》を鑑賞し、アトリエでオリジナルの鯉のぼりを制作し、母の塔広場に展示しました。岡本太郎作品にエネルギーをもらい、参加者は自由勝手に思い思いの鯉のぼりを制作していました。母の塔前広場の展示は、これまでの鯉のぼりを含め、約100尾が泳ぎ、生田緑地を訪れる人を楽しませていました。



場 所 創作アトリエ、常設展示室、母の塔前広場

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 23日:①10組(子ども10名、大人10名) ②12組(子ども8名、大人11名)

30日:①12組(子ども9名、大人11名) ②11組(子ども10名、大人10名) (先着順/電話受付)

・みんなで作ろう！こどもの樹

日 時 2023年5月4日(木祝)・5日(金祝) 10:30～11:30/13:00～16:00

展示日程 2023年5月5日(金祝)～5月14日(日)

内 容 《こどもの樹》には、個性豊かな皆違う顔が並びます。今年で4回目となる、《こどもの樹》の顔で作った塗り絵と自由に描けるイベントです。丸い紙を用意し、みんなで自由に顔を描いて『こどもの樹』を作りました。ゴールデンウィーク中の小さい子ども連れのご家族や大人の方にも楽しんでいただけました。多くの方にご参加いただき、賑やかなイベントとなりました。



場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

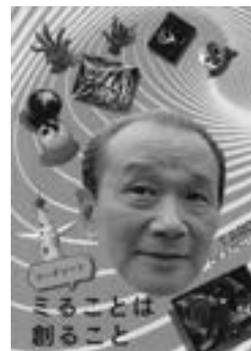
参加人数 1日目: 大人109名 子ども81名 2日目: 大人146名 子ども118名 合計: 454名(当日受付)

・ワークシート配布「みることは創ること」

日時 2023年7月21日(金)～9月17日(日) 9:30～17:00

内容 2022年7月から2023年3月にかけて行われた大規模巡回展を終え、戻ってきた岡本太郎作品からセレクトし、全館で展示した「凱旋!岡本太郎」展会期中、岡本太郎の歴史や作品の魅力を味わっていただくための子ども向けワークシートを配布しました。ページを開くと、太郎さんの人生の歩みが一目でわかり、作品を楽しむことができる間いかけの工夫をしました。また、「みることは創ること」という太郎さんの言葉を受け、スケッチページを設けています。多くの親子連れや友達同士でワークシートをもとに、鑑賞を楽しむ姿が見られました。

※ワークシートはなくなり次第、配布終了



場所 常設展示室入口横

料金 無料

配布枚数 7,958枚

・中学生のための「夏休みの宿題手伝います」ツアー2023

日時 2023年 ①7月25日(火) ②8月3日(木) ③8月18日(金) 10:00～11:00

内容 今年で6年目となる中学生向けの美術館見学ツアーを行いました。中学校では夏休みの課題として美術館に行って感想をかいたり、新聞を作ったりする学校が多く美術館スタッフによるツアーを行うようになりました。今年度は、美術館の役割にも触れ、作品だけでなく美術館自体にも興味・関心向けることができるようなワークシートを作成しました。友達や家族と一緒に参加し、作品の話しをしながら鑑賞したり、一人で真剣に作品を鑑賞したりする様子が見られました。



場所 展示室

対象 中学生

料金 無料

参加人数 ①14名(中学生10名、付添4名) ②43名(中学生22名、付添21名) ③33名(中学生23名、付添10名)(当日受付)

・生きカエル 情熱のアートうちわ

日時 2023年7月29日(土) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30

内容 太郎さんの展覧会ポスターやチラシ・紙・布などを切ったり貼ったりして、オリジナルのうちわを制作するワークショップを行いました。作品が出来上がった後は、かえるかわる子さんによる一言コメント付き鑑賞会を実施しました。



場所 ガイダンスホール、展示室

講師 かえるかわる子(第24回TARO賞入選作家)

対象 ①小学生以上(低学年は保護者同伴) ②18歳以上

料金 500円+観覧料

参加人数 ①14名(子ども:11名 大人*付き添い含む:11名)
②8名(子ども:2名 大人*付き添い含む:6名)(先着順/電話受付)

・美術館裏探検

- 日時 2023年8月6日(日) ①11:00～11:40 ②13:30～14:10
- 内容 普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する子ども限定のイベントです。第一収蔵庫、第二収蔵庫、大型エレベーター・搬入口・キャットウォークなどを探検しながら、美術館がどのように作品を保管し展示しているのかについて話しました。普段は入れない場所にキョロキョロ、ワクワクしている子ども達の様子が伺えました。
- 場所 展示室、バックヤード
- 対象 小・中学生
- 料金 無料
- 参加人数 ①10名(付添2名) ②9名(先着順/電話受付)



・太郎彫刻を描こう！

- 日時 2023年8月20日(日) ①10:00～11:30 ②13:30～15:00
- 内容 展示室の彫刻を鑑賞し、気に入った角度からスケッチしました。参加者の皆さん全員が真剣に作品と対話し、夢中になって描く様子が伺えました。描く中で、太郎彫刻のさらなる魅力を発見されていました。
- 場所 ガイダンスホール、展示室
- 対象 ①18歳以上 ②小学生以上(低学年は保護者同伴)
- 料金 300円+観覧料
- 参加人数 ①10名(大人:8名 付添2名)
②23名(子ども:11名 付添12名)(先着順/電話受付)



・TARO 塗り絵～若かりし日の TARO カンヴァスを彩る～

- 日時 2023年9月10日(日) ①10:00～11:30 ②13:30～15:30
- 内容 戦火で焼失してしまった太郎さんのパリ時代の作品(画集「OKAMOTO」に掲載された作品の中の4作品《リボン》《リボンの祭り》《机のある静物》《夏の夜》)をもとにした塗り絵を自由に楽しみました。よちよち歩きのお子さんから大人まで、それぞれのイメージパレットで、時間を忘れ、集中して色塗りを楽しむ様子が伺えました。
- 場所 ギャラリースペース
- 料金 無料
- 参加人数 105名(当日受付)



・編む！編む！編む！《ひもの椅子》

- 日時 2023年9月17日（日） 13:30～16:00
- 内容 太郎さんのデザインした《ひもの椅子》は、椅子のフレームと紐が別々の状態から、どんな色合わせ・模様・座り心地にするかは、編む人しだいの、ユニークな椅子です。新しい美術館の《ひもの椅子》を参加者の方に編んでいただいた。第21回岡本太郎現代芸術賞に入選され、毛糸などで作品制作をされている藤本りかさんを講師に迎え、色合わせについてのアドバイスをもらいながら、色とりどり個性豊かな椅子を制作しました。
- 講師 藤本りか（第21回 TARO 賞入選作家）
- 場所 ガンダンスホール、展示室
- 料金 無料（要観覧料）
- 参加人数 4組（大人5名、子ども3名）（先着順/電話受付）



・第12回キッズ TARO 作品募集&展示 テーマ「森のオキテ」

- 募集期間 2023年8月1日（火）～8月27日（日）*消印有効
- 展示日程 2023年9月2日（土）～10月1日（日）
- 内容 美術館では岡本太郎作品と共に子どもたちの絵画作品を飾る、「キッズ TARO 展」を今年も開催しました。テーマは岡本太郎の代表作品より「森のオキテ」とし、川崎市内だけではなく、大回顧展から岡本太郎を知った県外の子ども達からの応募もありました。多くの来館者が子ども達の作品を熱心に鑑賞している様子もありました。
- 展示場所 ギャラリースペース（無料スペース）
- 募集資格 中学生以下
- 作品規格 四つ切サイズ（38cm×54cm・縦横自由）以内
- 応募点数 104点



・月の顔の仮面をつくって・遊びにこよう

- 日時 2023年9月30日（土） 11:00～17:00
- 内容 オンラインコンテンツ・どこでも TARO アトリエで配信中の第25弾「マスカレード風」月の顔の仮面をつくろう」をおうちで制作して、美術館に持参すると限定クリアファイルが貰えるイベントを行いました。当日は、自慢のオリジナル仮面を持った親子の姿が数多く見受けられました。
- 場所 美術館受付
- 料金 要観覧料
- 参加人数 58名



・作品の中の生きものを、描いて動かしてみよう

日 時 2023年10月9日(月祝) ①10:00~12:00 ②13:30~15:30

内 容 岡本太郎さんの絵画から推しの生きものを見つけて、描いて切り出し、割りピン(割紙)を使って動かしてみるワークショップを行いました。体のパーツをバラバラに描いたり、使ったことのない金具と向き合ったりと、慣れない作り方に苦戦しながらも、参加者は楽しそうに制作していました。



場 所 ガイダンスホール、常設展示室

対 象 小学生(小学2年生以下は保護者同伴)

料 金 300円(保護者は要観覧料)

参加人数 ①4名(子ども:4名 付添5名)

②6名(子ども:6名 付添7名)(先着順/電話受付)

・美術館誕生祭! シルエットクイズラリー~美術館に潜むものを探そう~

日 時 2023年10月29日(日) 12:30~15:30

内 容 岡本太郎美術館は、1999年10月30日に開館し、今年で24周年を迎えました。美術館の誕生日に合わせ、芸術の詰まった洞窟のような空間の中で、太郎さんの生み出した作品の形をヒントに潜む作品を見つけ出すクイズラリーを行いました。それぞれの時間を忘れ、参加された方は、クイズ作品を探しながら、1つ1つの作品をいろいろな方向からじっくりと鑑賞されていました。



場 所 常設展示室

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 171名(当日受付)

・岡本太郎の羅針盤(コンパス)~Q&A~

日 時 2023年11月26日(日) 13:30~15:30

内 容 専修大学・問題解決型チャレンジプログラムの学生によるイベントです。岡本太郎の作品を観て、著書を読むことから始め、学生間での話し合い、美術館スタッフを交えた打合せを重ね、太郎の言葉と作品に基づく問題を解きながら、展示室を回るクイズラリーを行いました。



場 所 常設展示室

料 金 無料(要観覧料)

参加人数 75名(当日受付)

・認知症当事者と介護者を対象とした美術鑑賞プログラム「アートリップ」

日 時	2023年12月13日(水) 10:00~11:30
内 容	「アートリップ」は、“アート”と“トリップ”を組合わせた造語です。「アートリップ」では、アートコンダクターからの質問をきっかけに、参加者が作品を読み解き、思った事を自由に発言し、みんなで絵の世界を味わいます。認知症当事者の方も、そのご家族も、あらゆる人が一緒にアートをより楽しめるプログラムです。参加者の皆さんは、慣れていない鑑賞に戸惑いながらも対話しながら、作品をじっくり楽しんでいただきました。
講 師	林容子 (一般社団法人アーツアライブ代表理事)
場 所	ガイダンスホール、常設展示室
対 象	認知症当事者とその家族、介助者
料 金	無料 (試験実施のため)
参加人数	4組 (公募推薦制・同伴各1名)



・講演会「美術館×認知症 アートリップの概要と効果」

日 時	2023年12月17日(日) 13:30 開場 14:00 開演
内 容	認知症のある方やそのご家族、介護者の方を対象とする対話型鑑賞プログラム「アートリップ」を、各地の美術館・福祉施設で実践されている林容子氏に、これまでの事例を踏まえたお話を伺う講演会を行いました。幅広い活動を約1時間にわたってご説明いただき、内容の濃い時間となりました。
講 師	林容子 (一般社団法人アーツアライブ代表理事)
場 所	ガイダンスホール
対 象	認知症当事者とそのご家族、介助者や施設職員などご興味のある方どなたでも
料 金	無料
参加人数	19名 (当日受付)



・オリジナルのメダルをつくろう！—私の金メダル—

日 時	2024年1月7日(日) 13:30~15:30
内 容	スポーツをテーマとした常設展内容に合わせて、太郎さんのオリンピック関連の作品、デザインした公式メダルを鑑賞、その後、気に入った作品をスケッチし、オリジナルのメダルを制作しました。イラストボード、厚紙、金シートを用い、金メダルを作り、そこに鉛筆で線描や点描を行うことで、ニュアンスを与えるなど、子ども達も工夫しオリジナルのメダルにしていました。
場 所	ガイダンスホール、展示室、創作アトリエ
対 象	どなたでも
料 金	500円+観覧料
参加人数	①26名 (大人13名 子ども13名) (先着順/電話受付)



・TARO Birthday Concert

日 時	2024年2月25日(日) 14:00~14:45
内 容	岡本太郎は1911年2月26日生まれ。113歳の誕生日を祝うバースデーコンサートを開催しました。来館者の方に、サクソ奏者の文梨衛さん等による素敵なジャズ演奏をお楽しみいただきました。
場 所	岡本太郎美術館ギャラリースペース
演 奏	文梨 衛 (サクソ)
共 演	ゴトウダ リョウタ (キーボード)、彩夏 (ボーカル)
対 象	どなたでも
料 金	無料 (椅子席は要観覧券)
参加人数	椅子席40席 (先着順/電話受付)、立ち見85名



・人のカタチを描こう！

日 時	2024年3月20日(日) 13:30~15:30
内 容	太郎さんの表現する「人を鑑賞し、自分なりの人のかたちを絵画制作します。人物を描くのが初めての方、描くのに苦手意識がある方も、さまざまな表現の太郎作品を鑑賞してから描く事で柔軟に取り組み、互いに描きあうことで、みんなで描くことを楽しむイベントとなりました。
場 所	常設展示室、創作アトリエ
対 象	小学生~大人 ※未就学児は不可
料 金	300円+観覧料
参加人数	10名 (大人8名 子ども2名) (先着順/電話受付)



・はいはい&よちよち美術館ツアー

日 時	2023年①4月12日(水)②5月10日(水)③6月14日(水)④9月27日(水)⑤10月18日(水)⑥11月8日(水) 2024年⑦2月14日(水)⑧3月13日(水) 10:30~11:30
内 容	親子で一緒に鑑賞を楽しむことで、親子のコミュニケーションを図ったり、小さな子どもでも無理なく美術館の雰囲気を味わってもらったりすることができる鑑賞会。
場 所	ガイダンスホール~常設展示室
対 象	3か月0~3歳の幼児とご家族 先着8組
料 金	無料 (要観覧料)
参加人数	①7組 (子ども7名、大人5名) (先着順/電話受付) ②4組 (子ども5名、大人5名) " ③5組 (子ども5名、大人6名) " ④8組 (子ども8名、大人11名) " ⑤6組 (子ども6名、大人13名) " ⑥7組 (子ども7名、大人10名) " ⑦7組 (子ども9名、大人7名) " ⑧7組 (子ども8名、大人9名) "



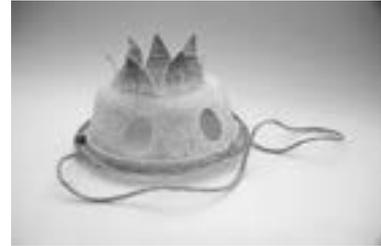
どこでも TARO アトリエ

「どこでも TARO アトリエ」は、2020年4月に発表された緊急事態宣言下で、多くの方がご自宅で過ごされている時期に、美術館へ行けなくても、ご自宅で太郎さんの作品を楽しんでもらえるように、はじめたコンテンツです。これまで好評だったワークショップなどから、大人でも子どもでも、気軽に楽しめるアイデアをご紹介します。コロナ禍後も、遠方にお住まいの方が、来館しにくいことには変わりはないため、「どこでも TARO アトリエ」の公開・更新は続けています。

第27弾 カンタン！河童帽

彫刻《河童像》をモチーフに、紙製の深皿と紐を使った、簡単な帽子です。

コンテンツ公開に伴い、2024年3月2日（土）・3日（日）には、どこでも TARO アトリエ特別企画「大・河童祭」と題したイベントを行い、河童帽を自宅で作って、被って遊びに来た来館者の方にオリジナルシールをプレゼントしました。



団体利用実績

学校団体の受け入れにあたっては、入館の人数について、対応スタッフの人数及び展示室の広さに合わせ、1回80人以下の児童たちを更に2～3グループに分け、適正な鑑賞活動ができるようにしています。また、鑑賞活動の流れについては、はじめに館外でのガイダンス、館内については対話形式のみ、または、ワークシート等を利用しての実施30分、館外館内合わせて45分ほどで鑑賞を行っています。中学生以上は自由見学のところが多いですが、中学校においても受け入れ人数が多い場合は、常設展示室から入るグループ、企画展示室から入るグループに分け、鑑賞環境を整えた案内を行っています。

今年度は、コロナ禍が収まってきたこともあり、久しぶりに実施された校外学習で美術館を利用される学校団体の方が増えました。

<令和5年度 学校受入数>

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校・ 身障者施設等		幼稚園・ 保育園		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	0	0	0	0	1	121	0	0	0	0	1	8	2	129
5月	2	169	1	245	1	19	0	0	1	99	0	0	5	532
6月	8	1026	0	0	1	73	1	14	0	0	0	0	10	1113
7月	0	0	3	93	3	66	0	0	0	0	2	81	8	240
8月	0	0	3	53	7	50	0	0	1	17	5	349	16	469
9月	10	1269	1	13	0	0	1	38	0	0	0	0	12	1320
10月	7	810	1	79	0	0	1	19	3	144	1	10	13	1062
11月	6	751	4	32	1	44	0	0	1	30	1	5	13	862
12月	9	839	2	41	1	43	0	0	0	0	0	0	12	923
1月	7	688	2	11	0	0	1	6	0	0	1	18	11	723
2月	6	545	2	12	0	0	1	18	0	0	1	12	10	587
3月	3	330	0	0	0	0	1	5	1	23	1	11	6	369
合計	58	6427	19	579	15	416	6	100	7	313	13	494	118	8329



学校プログラム

<職場体験・インターンシッププログラム>

内 容 体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、監視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各1時間程度体験しています。

インターンシップでは、普及イベント（中学生の宿題手伝いますツア一や美術館裏探検ツアー）の手伝いも行ってもらいました。

受け入れ校数 高校 2 校、中学校 5 校



<出張授業・鑑賞授業>

内 容 美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めています。

受け入れ校数 中学校 1 校
10月21日（土） 川中島中学校 希望者



<オンライン授業>

内 容 美術館に来館することが様々な事情で難しい学校に向けてオンラインでつながり、鑑賞授業を行いました。今年度は、小学校2校で実施しました。学校と授業内容について直接話し合って決め、行いました。岡本太郎美術館のことや岡本太郎という人物や作品について伝えるとともに、途中、対話的な鑑賞活動も盛り込みました。

授業の事前事後の学習で、各学校が状況に合わせて教材セットなどを活用した表現活動に発展させることで、さらに充実した授業実践に結びつきました。

受け入れ校数 小学校 2 校



<学校・地域連携事業>

○小学校教育研究大会・図画工作科 発表協力

7月25日(火)、第61回小学校教育研究会研究大会が行われました。小学校教育研究会の分科会において、図画工作科研究会の鑑賞活動における美術館連携をテーマにした発表のVTR制作に協力をさせていただきました。美術館からは、貸し出し教材の紹介を市内小学校に向けて行いました。

○小学校図画工作科研究会夏季実技研修会

川崎市小学校図画工作科研究会では、昨年度に引き続き夏季実技研修会が行われました。

鑑賞部会では岡本太郎美術館のアトリエで研究会の常任委員さんの他、美術館職員から美術館紹介、学校団体との連携について話し、ガイダンス後、展示室内鑑賞、特に美術館の壁面に描かれた「遊ぶ字」での対話型鑑賞を行いました。午後には、教材セット「遊ぶ字」を活用し、自分の表したい字の形態、模様、色彩について考え思い思いの表現を楽しむ楽しむ活動が行われました。



○中学校連合文化祭 美術科部会 協力

10月25日(水)川崎市中学校連合文化祭が開催された。今年度は幸・中原地区の13校の生徒65名が参加しました。常設展「岡本太郎とスポーツ」、企画展「第27回 岡本太郎現代芸術賞展」を鑑賞しました。じっくり隅々まで熱心に鑑賞する姿が見られました。彫刻作品の部屋では気になる作品を選び、気に入った角度からスケッチをしながら、描くことでまた新たな発見をしながら作品の面白さを味わっていました。



○社会体験研修

8月3日(木)、8月16日(水)の2日間、県立高津支援学校の先生1名が社会体験研修で岡本太郎美術館に来られました。普及イベントの手伝いや、「受付監視」「広報」「施設管理」からのレクチャーを受けるなど、日頃とは違う仕事を体験していただきました。

美術館の作品にかかわる様々な業務を知っていただいたことで、美術作品への見方がより深まり、学校現場で授業実践の工夫につなげていきたいという思いを強くもたれていました。



○地域施設見学及びインタビュー

川崎市立宮崎中学校の生徒さん13名、川崎市立金程中学校1年の生徒さん18名、川崎市立向丘小学校4年生の皆さん2名が、地域施設の見学とインタビューのために来館されました。各学校の調べ学習のテーマに合わせて、川崎市が目指す多様性との関連や公共サービスについてなど、様々な質問がなされました。また、美術館としての展示の工夫や太郎さんの作品の芸術性を各々の見方・感じ方で体感もしていただきました。岡本太郎さんの作品に込めた思いや展示の仕方の工夫などについて熱心に質問を重ねる姿も伺えました。



教材開発と利用

<映像資料>

「岡本太郎の芸術」

時間：20分

内容： 岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作フィールドワークなど様々な活動の記録を分かりやすく解説しています。

*ドロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



「マナーDVD」

内容： 小学生以下の子ども向けにつくった美術館でのマナーを簡単にまとめたものです。今年度新たに作り替えました。



<作品プリント>

「代表作品」



【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品
立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品
レリーフ：《天に舞う》全 1 作品
写真：《縄文土器》他 全 2 作品
*個々の作品についての解説書付き

「遊ぶ字」



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》
《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品

「《太陽の塔》／《明日の神話》授業セット」

制作の様子がわかる岡本太郎のプライベート写真や作品と関連のある作品画像をまとめて、《太陽の塔》《明日の神話》についての授業をするためのセットです。



【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

内容

《太陽の塔》正面・背面
《ノン》《戦士》《マスク》他 全 20 作品



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《明日の神話》、《燃える人》ドローイング、
制作風景写真 他 全 20 画像

*他、新年度の活用に向け、「《こどもの樹》授業セット」「太郎作品じゃんけんセット」を作成しました。

<大型作品プリント>

【巻いて筒状 約B倍 (1030 cm×1456 cm)】



内容：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全5作品

<作品カード (アートカード) >

美術館見学の事前・事後の授業で使用するなど、年間50件近く活用していただいています。

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全7作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全10作品

版画：《眼》《夢》全2作品レリーフ：《マスク》全1作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全3作品



<子ども向け自由鑑賞ワークシート>

学校団体向けの鑑賞コースに平成30年度よりワークシートを活用したコースを加え、目的に合わせた各種ワークシートを展示内容に合わせて普及企画スタッフで作成しています。美術館での学習だけでなく、学校授業でも使用していただけます。

・“遊ぶ！”ガイドマップ

主な作品のカラー画像があります



・歩いて 感じて 書き留めるマップ

鑑賞のきっかけになる質問やメモスペースが多くある内容。各展覧会に合わせた内容。



美術館教育研究会

- 日 時 2024年2月29日(木) 15:00~16:30
- 場 所 岡本太郎美術館 創作アトリエ
- 議 題 (1) 令和5年度の普及事業報告
- 学校対応事業
 - 学校・地域連携事業
 - イベント・ワークショップ事業
- (2) 令和6年度の教育普及事業予定
- 学校団体利用について
 - ・学校団体鑑賞プログラムの内容
 - ・鑑賞ワークシートの活用
 - ・貸し出し教材
 - 展覧会、イベント予定
- (3) その他



- 出席者 小・中学校：長澤秀行（川崎市総合教育センターカリキュラムセンター指導主事）、紀裕子（片平小学校校長）、丸尾明彦（西有馬小学校校長）、白石裕之（長沢小学校総括教諭）、木村光紘（栗木台小学校教諭）、石井結実子（末長小学校教諭）、高橋憂（生田中学校教諭）、北潟美波（枳形中学校教諭）、坂井祐子（稲田中学校教諭）、本多隆（稲田中学校教諭）
- 川崎市市民ミュージアム：杉浦央子、奈良本真紀
- 美術館：佐々木智子（岡本太郎美術館副館長）、佐藤玲子（課長補佐）、澁谷加寿子（主任）、千村曜子（職員）、鈴木亜優（職員）、

7. 指定管理者による自主事業 イベント・ワークショップ

*川崎市岡本太郎美術館は、2018年4月より「生田緑地
共同事業体」（構成企業：(株)日比谷花壇、(株)日比谷
アメニス、東急プロパティマネジメント(株)）が指定管
理者業務を行っています。

・西口広場キッチンカーdeピクニック

日 時 2023年4月29日（土祝）①10:00～16:00

内 容 コロナ禍より行動制限の息抜きで利用者が増加したことを受けキッチンカーの派遣を開始して1年が経過したのを機に、西口広場・母の塔広場の利用を促進するため、キッチンカーに加え、音楽やダンスステージ、ワークショップも盛り込んだミニフェスイベントを開催しました。※生田緑地のイベントとして開催、美術館は一部協力。

場 所 西口広場・母の塔広場

内 容 ワークショップ…竹の楽器作り、ランタン絵付け、ペーパークラフトステージ……キッズダンス、ギター弾き語り、殺陣演武

参加人数 650名



・美術館でフラワーレッスン vol. 23

「Ring of Rose～ローズの母の日ウッドプレートアレンジ」

日 時 2023年5月6日（土）①10:30～12:00 ②14:00～15:30

内 容 好評のプリザーブドフラワーアレンジ教室を母の日をテーマに開催しました。行動制限の緩和でレジャーの選択肢が増えたからか、定員は埋まりませんでした。参加の皆さんは楽しそうに創作に打ち込んで、大変盛り上がりました。

場 所 創作アトリエ

対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

講 師 重田章子（日比谷花壇認定講師）

料 金 2,500円（入館外イベント）

参加人数 ①20名（うち同伴4名）②10名（うち同伴2名） ※定員各20名（先着順/電話受付）



・クロスステッチ×「坐ることを拒否する椅子」

日 時 2023年5月13日（土）①10:30～12:00 ②14:30～16:00

内 容 岡本太郎作品の中で人気のある作品《坐ることを拒否する椅子》を鑑賞し、その代表的な顔のモチーフをクロスステッチというポピュラーな技法を用いて刺しゅうしたブローチを制作しました。

場 所 常設展示室・創作アトリエ

対 象 どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

講 師 森近ちぐさ（日比谷花壇）

料 金 1,000円（別途観覧料）

参加人数 ①11名（うち同伴1名） ②16名（うち同伴2名） ※定員各15名（先着順/電話受付）



・かわいいコケ玉をつくろう！

日 時	2023年6月18日(土) ①10:30～11:30 ②14:30～15:30
内 容	毎年好評のコケ玉教室を今回も母の塔下で開催しました。行動制限も緩和され、ほとんどが家族連れて昨年以上の参加を頂き、大変盛り上がりしました。屋上の苔管理者が大学講師に交代となり、お願いした苔の説明もアカデミックになり、美術館の緑化努力への関心も深めました。
場 所	母の塔下(屋外)
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	小山裕行(日比谷花壇)
料 金	1,600円
参加人数	①30名(うち同伴9名) ②34名(うち同伴13名)(先着順/電話受付)



・カフェ前ミニコンサート

日 時	2023年6月18日(土) 11:00～11:30
内 容	コロナ禍を経て3年半ぶりに、専修大学アカペラサークル Emohill によるカフェ前ミニコンサートを開催しました。コロナにより活動がほぼ停滞していた影響で開催も直前決定となり告知時間が短かったなか、当日は30℃を超える暑さとなり観客はまばらでしたが、2バンドが4曲を演奏しました。これを皮切りに再度定期開催を目指します。
場 所	カフェテリア TARO 前広場
出 演	専修大学アカペラサークル Emohill
料 金	無料
参加人数	20名



・美術館でフラワーレッスン vol.24 「海いろの香水ボトルアレンジ」

日 時	2023年7月15日(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30
内 容	夏をテーマにしたプリザーブドフラワーアレンジ教室を開催しました。アンケートで要望が多かったブルーコントラストの海のイメージで企画しましたが、夏のスケジューリングは難しく、実績はいまひとつとなりました。別途資材の購入希望が4つあり、毎回のことながらレッスンは大変盛り上がりしました。
場 所	創作アトリエ
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	重田章子(日比谷花壇認定講師)
料 金	2,500円(入館外イベント)
参加人数	①13名(うち同伴1名) ②4名 ※定員各15名(先着順/電話受付)



・かわいい金魚をつくろう・風鈴絵付け（民家園通り商店会夏まつり協力出店）

日 時	2023年7月22日（土）14:00～20:15
内 容	毎年開催協力をしている「民家園通り商店会夏まつり」に、昨年実施し大変好評だった紙細工の金魚を作るワークショップと、協力業者・相州雅屋による風鈴の絵付け工作で出店した。緑地で排出されたアズマネザサ茎の有効活用も兼ね、今回も金魚の紙細工や夏らしい風鈴を手にした浴衣の子どもたちが祭り会場を彩り、地元賑わいへの貢献が高く評価されました。
場 所	民家園通り 大踏切付近テント特設
対 象	どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
講 師	山内夏美、荒川早苗、平賀瑞希（日比谷花壇）
料 金	金魚制作 300 円、風鈴絵付け 500 円
参加人数	金魚制作 135 名（同伴除く）、風鈴絵付け 50 名



・「ぴよんぴよん！花うさぎさん」（生田緑地お月見フェスタ内ワークショップ）

日 時	2023年9月30日（土）11:00～16:00
内 容	生田緑地お月見フェスタの出展企画として、指定管理者の花と月に絡め、うさぎのペーパークラフト教室を開催しました。うさぎの体・花びら・しっぽのパーツの色を選んで簡単に作れるため年少のお子さんに人気があり、お母さん方にも大変喜ばれました。
場 所	中央広場（屋外）
対 象	どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
講 師	山内夏美、関根なつ美（日比谷花壇）、看視職員
料 金	300 円
参加人数	291 名（うち同伴 166 名）（随時参加受付）



・美術館でフラワーレッスン vol.25 「秋色協奏曲～秋いろのウッドショッピングバッグアレンジ」

日 時	2023年10月28日（土）①10:30～12:00 ②14:00～15:30
内 容	好評のアレンジ教室を、秋をテーマに開催しました。木製のショッピングバッグ型の器に秋色の花をあしらうデザインで、今回も根強いリピーターの方と初参加の方が入り交り、楽しく制作されました。
場 所	ガイダンスホール
対 象	どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
講 師	重田章子（日比谷花壇認定講師）
料 金	2,500 円（入館外イベント）
参加人数	①17 名（うち同伴 2 名） ②8 名（うち同伴 1 名） ※定員各 15 名（先着順/電話受付）



・美術館でフラワーレッスン vol. 26 Holy night forest～北法風キャンドルリースアレンジ

日 時 2023年11月18日(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30

内 容 毎回要望の多いクリスマスリース教室を生花素材を使って開催しました。今回も早期に満席となり10名ほどお断りが出るほどの大人気でした。難易度が高い内容ながら子どもも果敢に挑戦し、完成時には皆さん達成感にあふれた笑顔になっていました。前回参加され、今回友人を誘って参加の方も複数いらっしゃり、人気のほどがうかがえました。



場 所 創作アトリエ

対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

講 師 重田章子(日比谷花壇認定講師)

料 金 2,500円(入館外イベント)

参加人数 ①17名(うち同伴2名) ②17名(うち同伴2名) ※定員各15名(先着順/電話受付)

・ラージコスモスをつくろう (生田緑地西口広場ピクニック FES 内)

日 時 2023年11月25日(土) 10:00～16:00

内 容 西口広場の利用活性化を目的に春に開催したフェスイベントの秋版を開催しました。天気に恵まれず、本来10月開催で進めていたところ、雨で延期となり、開催当日は前日より気温が10℃も低く生田緑地自体が閑散としていました。イベント中、美術館は人気のペーパークラフト教室で参加し、季節に合った大きなコスモスを作りました。参加者は僅か8名でしたが、秋の緑地の景観に大きなコスモスを持って楽しそうに写真撮影されていました。



場 所 西口広場

対 象 (美術館出店のワークショップ) どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

講 師 山内夏美、藤林千咲子、窪嶋南月(日比谷花壇)

料 金 500円

参加人数 8名(同伴除く) ※当日随時受付

・美術館でフラワーレッスン vol. 27「慶賀の輝き～艶やかに装う摩登シックなお正月飾り」

日 時 2023年12月23日(土) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30

内 容 アレンジ教室では年間で最も人気が高い新春テーマのアレンジメントを作りました。大輪のダリアなどの造花を組み合わせて、注連縄飾りモチーフにしたデザインの壁飾りを制作しました。今回は前回の教室の際に事前予約を行ったところ3/4が埋まってしまい、急遽4席分の増設を行い対応するほどの人気でした。



場 所 創作アトリエ

対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

講 師 重田章子(日比谷花壇認定講師)

料 金 2,500円(入館外イベント)

参加人数 ①22名(うち同伴3名) ②18名(うち同伴4名) ※定員各15名(先着順/電話受付)

・TARO 凧をつくろう！

日 時	2024年1月13日(土) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00
内 容	昨年、母の塔広場の床面工事で開催を見合わせた和凧作り教室を2年ぶりに開催しました。家族で参加されるため定員が少なくてもアトリエはかなり賑わう開催で、お子さんがのびのび描いた絵を保護者の方が一生懸命凧に仕立て、母の塔広場で楽しそうに試し揚げをしていました。
場 所	創作アトリエ
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	小山裕行(日比谷花壇)
料 金	500円(入館外イベント)
参加人数	①35名(うち同伴18名) ②23名(うち同伴10名) ※定員各15名(先着順/電話受付)



・美術館でフラワーレッスン vol.28 「Spring has come! ~春色のゴンドラ壁掛けアレンジ

日 時	2024年3月16日(土) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00
内 容	毎年人気の春の花テーマの教室を今年も開催。ひげつるで編んだゴンドラ型のベースに暖かな色あいの花をあしらひ、イースター飾りにも使えるよう卵のオブジェも入れ込みました。今回はネットで探して参加という初参加の方も多く、春の花を籠いっぱいにあしらって、大変楽しく制作されていました。
場 所	創作アトリエ
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	重田章子(日比谷花壇認定講師)
料 金	2,500円(入館外イベント)
参加人数	①15名 ②14名(うち同伴2名) ※定員各15名(先着順/電話受付)



・西口キッチンカー

日 時	2023年4月~2024年3月 毎土・日・祝日 10:00~夕方
内 容	西口広場の活性化と美術館来館にもう一つ楽しみを演出するため派遣を開始したキッチンカーも2年目に入り、だいぶ定着してきました。昨年度の実績をもとに春秋の良い季節には店舗数を拡大し、平均売上も安定しています。引き続き美術鑑賞の傍らの楽しみを創造するとともに、緑地と美術館の包括的なレジャー価値も高めていきたいと思ひます。
場 所	母の塔付近
出店品目	ホットサンド、ホットドッグ、ケバブ、ハワイアンフード、かき氷等
延べ出店日数	110日
延べ出店数	232店舗
利用客数	8,612人



8. 川崎市岡本太郎美術館部会

川崎市岡本太郎美術館部会

第1回

日 時：2023年11月9日（木）14:00～15:10

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 橋 本 善 八（世田谷美術館副館長）
委 員 加 藤 弘 子（平塚市美術館特別館長）
長 門 佐 季（神奈川県立近代美術館企画課長）
藤 嶋 俊 會（美術評論家）

議 事：

・令和5年度事業経過・予定

1 展覧会事業

(1)企画展

「顕神の夢—幻視の表現者— 村山槐多、関根正二から現代まで」展

「凱旋！岡本太郎」展

「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」展

「第27回岡本太郎現代芸術賞（TARO 賞）」展

(2)常設展

「岡本太郎と太陽の鳥」展

「岡本太郎とスポーツ」展

「人のかたち：岡本太郎の人物表現」展

2 資料収集・整理、調査研究

3 作品の保存・修復、貸出

4 普及企画

5 広報活動

6 施設・設備の整備

7 その他：予算・決算、統計データ等

(1)予算・決算資料

(2)統計データ

(3)展覧会ポスター

第2回

日 時：2024年2月27日（木）14:00～16:00

場 所：岡本太郎美術館・創作アトリエ

出席委員：

部会長 橋 本 善 八（世田谷美術館副館長）
委 員 加 藤 弘 子（平塚市美術館特別館長）
杉 浦 幸 子（武蔵野美術大学造形学部教授）

長 門 佐 季 (神奈川県立近代美術館企画課長)

藤 嶋 俊 會 (美術評論家)

議 事 :

・令和5年度事業経過・報告

1 展覧会事業

(1)企画展

「顕神の夢—幻視の表現者— 村山槐多、関根正二から現代まで」展

「凱旋! 岡本太郎」展

「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」展

「第27回岡本太郎現代芸術賞 (TARO 賞)」展

(2)常設展

「岡本太郎と太陽の鳥」展

「岡本太郎とスポーツ」展

「人のかたち: 岡本太郎の人物表現」展

2 資料収集・整理、調査研究

3 作品の保存・修復、貸出

4 普及企画

5 広報活動

6 施設・設備の整備

7 その他: 予算・決算、統計データ等

(1)予算・決算資料

(2)統計データ

(3)展覧会ポスター

・令和6年度事業予定

・令和5年度事業評価

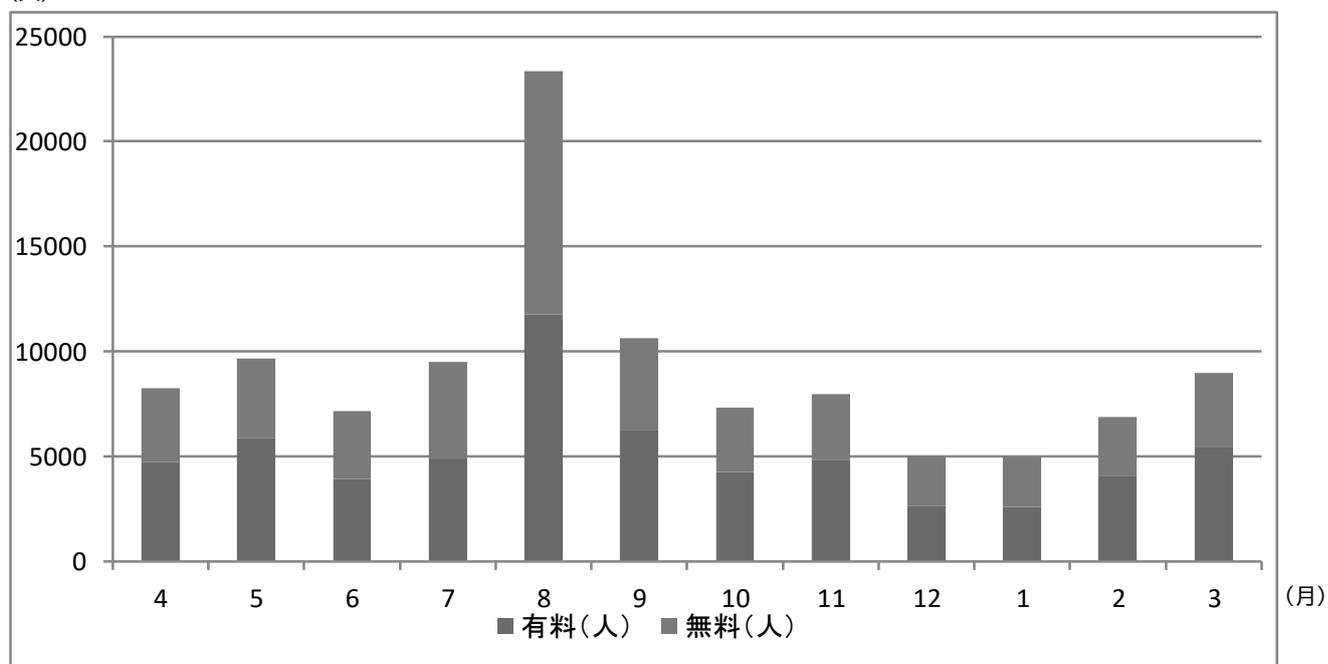
II. 資料

1. 入館者数統計

■令和5年度 月別入館者数■

月	開館日数	一日平均 (人)	有料 (人)	無料 (人)	合計 (人)
4	24	313	4,704	3,527	8,231
5	26	371	5,834	3,820	9,654
6	25	286	3,912	3,226	7,138
7	22	432	4,891	4,604	9,495
8	27	864	11,752	11,575	23,327
9	25	425	6,234	4,383	10,617
10	24	304	4,251	3,052	7,303
11	25	318	4,800	3,146	7,946
12	24	208	2,631	2,354	4,985
1	20	248	2,578	2,391	4,969
2	25	275	4,023	2,848	6,871
3	26	345	5,443	3,539	8,982
合計	293	374	61,053	48,465	109,518

(人)



■年度別入館者数■

	開館日数	有料入館者	無料入館者	合計	一日平均
平成11年度	124	43,420	29,593	73,013	589
平成12年度	292	49,532	31,837	81,369	279
平成13年度	298	36,363	34,613	70,976	238
平成14年度	298	36,466	38,259	74,725	251
平成15年度	293	36,199	32,296	68,495	234
平成16年度	287	34,607	34,183	68,790	240
平成17年度	293	38,682	34,382	73,064	249
平成18年度	296	58,619	56,197	114,816	388
平成19年度	296	43,061	27,360	70,421	238
平成20年度	294	42,545	29,443	71,988	245
平成21年度	293	44,541	30,906	75,447	257
平成22年度	284	38,422	31,611	70,033	247
平成23年度	287	50,053	37,989	88,042	307
平成24年度	284	45,777	37,260	83,037	292
平成25年度	298	36,322	33,862	70,184	236
平成26年度	296	34,370	38,800	73,170	247
平成27年度	296	35,253	37,330	72,583	245
平成28年度	294	36,417	38,922	75,339	256
平成29年度	288	33,389	40,129	73,518	255
平成30年度	299	40,277	37,685	77,962	261
平成31/ 令和元年度	289	34,933	34,204	69,137	239
令和2年度	256	35,154	23,895	59,049	231
令和3年度	294	50,255	31,689	81,944	279
令和4年度	178	37,082	23,802	60,884	342
令和5年度	293	61,053	48,465	109,518	374
合計	7,000	1,032,789	874,711	1,907,500	273

※岡本太郎美術館の開館日：平成11年10月30日

2. 美術館事業 予算・決算概要

予算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳出	非常勤職員経費	13,649	
	報酬	11,247	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	2,070	再任用職員
	職員手当等	332	再任用職員
	学芸業務事業費	50,659	
	報酬	3,140	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	678	資料収集・評価審査謝礼 企画展関連イベント協力謝礼 教育普及関連イベント協力謝礼
	旅費	1,107	企画展等調査、作品集荷返却
	需用費	1,520	図書・雑誌、展示上映用消耗品 情報事業用消耗品、教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	635	キャッシュレス決済手数料
	委託料	26,685	展示上映事業（企画展、常設展） 情報事業、教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（岡本かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,949	OA機器賃借料、展示上映使用料賃借料
	備品購入費	2,884	美術作品・資料、庁用備品、図書
	負担金補助及び交付金	6,061	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金 「顕神の夢」展実行委員会負担金

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	135,406	
	委託料	135,406	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	4,489	
	報酬	1,629	会計年度任用職員（旧臨職）
	需用費	302	資料デジタル化事業用消耗品
	委託料	2,558	資料デジタル化事業委託
	美術館維持補修事業費	11,900	
	委託料	11,899	空気熱源ヒートポンプ設備整備、建物現況調査
	工事請負費	1	
	岡本太郎作品補修事業費	5,230	
委託料	5,230	《月の顔》補修及び新庁舎移設業務、油彩作品補修業務	
計		221,333	

歳 入	使用料	39,026	観覧料
	その他使用料	1,289	カフェテリア使用料、資料等特別利用料
	雑入	11,325	図録等売上、イベント参加料、各種助成金
計		51,640	

決算概要

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳出	非常勤職員経費	13,003	
	報酬	10,495	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	2,153	再任用職員
	職員手当等	355	再任用職員
	学芸業務事業費	48,118	
	報酬	2,923	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	570	資料収集・評価審査謝礼 企画展関連イベント協力謝礼 教育普及関連イベント協力謝礼
	旅費	649	企画展等調査、作品集荷返却
	需用費	1,238	図書・雑誌、展示上映用消耗品 情報事業用消耗品、教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	604	キャッシュレス決済手数料
	委託料	25,778	展示上映事業（企画展、常設展） 情報事業、教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（岡本かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,938	OA機器賃借料、作品賃借料
	備品購入費	2,358	美術作品・資料、庁用備品、図書
	負担金補助及び交付金	6,060	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金 「顕神の夢」展実行委員会負担金

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳 出	管理運営事業費	138,844	
	委託料	138,844	指定管理委託料
	資料デジタル化事業費	4,326	
	報酬	1,535	会計年度任用職員（旧臨職）
	需用費	235	資料デジタル化事業用消耗品
	委託料	2,556	資料デジタル化事業委託
	美術館維持補修事業費	26,839	
	委託料	18,028	空気熱源ヒートポンプ設備整備、改修に向けた調査
	工事請負費	8,811	空調機補修工事、アトリエ屋上防水等改修工事、防火扉オートヒンジ交換工事ほか
	岡本太郎作品補修事業費	4,862	
委託料	4,862	《月の顔》補修及び新庁舎移設業務、作品修復（《招待》、《二人》）	
計		235,992	

歳 入	使用料	44,112	観覧料
	その他使用料	1,412	カフェテリア使用料、資料等特別利用料
	雑入	4,168	図録等売上、イベント参加料、各種助成金
計		49,692	

III. 組織名簿 (令和5年度)

川崎市文化芸術振興会議岡本太郎美術館部会委員名簿

(任期：令和5年10月1日～令和8年9月30日)

部会長	橋本善八 (世田谷美術館副館長)
委員	加藤弘子 (平塚市美術館特別館長)
委員	杉浦幸子 (武蔵野美術大学造形学部教授)
委員	長門佐季 (神奈川県立近代美術館企画課長)
委員	藤嶋俊會 (美術評論家)

川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

館長	土方明司	学芸員 (学芸)	喜多春月
副館長	佐々木智子	学芸員 (学芸) (～4月)	富永ももこ
課長補佐・学芸員 (普及企画)	佐藤玲子	再任用職員 (普及企画)	澁谷加寿子
担当係長 (管理)	山崎千加子	臨時的任用職員 (学芸) (10月～)	澤田愛理
担当係長・学芸員 (学芸)	片岡香	会計年度任用職員 (普及企画)	鈴木亜優
事務職員 (学芸)	石原輝美	会計年度任用職員 (普及企画)	千村曜子
事務職員 (管理)	重森雄介	会計年度任用職員 (学芸) (9月～)	細川茉莉香

IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

美術館の目的

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎氏から寄贈された美術作品及び資料をコレクションの中心として岡本太郎芸術の背景となった両親のかの子、一平の芸術、並びに近現代美術についての収集と展示を主な事業としています。また新しい芸術を創造するための収集、展示などを行い、市民の利用に供するものとします。

更には、単なる美術、芸術鑑賞の場にとどまることなく、市民の美術、芸術に関する創造活動を促進し、市民の芸術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

美術館事業内容

収集・保存

岡本太郎、一平、かの子に関する作品、資料、また近現代の美術作品を収集し、収蔵庫での燻蒸や必要に応じて資料の修復を行うなど、作品の保存管理を行います。

調査研究

- ・岡本太郎、一平、かの子作品とその周辺の美術、国内外の現代美術に関する調査と研究。
- ・美術館における展示方法や作品・資料の修復、保存の研究。
- ・美術館の普及活動における調査研究。

展 示

(常設展示)

常設展示室では、岡本太郎の作品の紹介とその背景となる一平、かの子の作品、資料の展示替えを年4回行います。

(企画展示)

企画展示室では、岡本太郎芸術に関連するテーマ展、新人作家展、子ども向け展覧会など幅広いジャンルに渡る企画展を年4回の割合で行います。

情報・出版

ガイダンスホールでは、岡本太郎作品や芸術についての映像を来館者に無料で提供します。また美術館ホームページやミュージアムニュースなどさまざまなメディアを通して外部への情報を発信し、美術館と人とのコミュニケーション作りをめざしています。

普 及

子どもから成人まで、さまざまな年齢層に応じ、ワークショップ、講演会、講座などのイベントや、貸出教材、ビデオ等での岡本太郎や美術館の紹介など、だれもが気軽に美術に親しめるための普及活動を行います。また他の美術館、教育施設と連携したイベント等の事業にも活動を広げていきます。

美術館沿革

- 平成3年 4月 川崎市市民ミュージアムにて「川崎生まれの鬼才・岡本太郎」展開催
11月 岡本太郎氏の所有する主要作品352点が寄贈される(第一次)
- 平成5年 1月 岡本太郎氏に川崎市名誉市民を贈る
岡本太郎氏の所有する主要作品1,427点が追加寄贈される(第二次)
- 4月 岡本太郎記念館準備室 発足
川崎市市民ミュージアムにて「TARO 万華鏡」展開催
- 平成6年 4月 岡本太郎記念館準備室から岡本太郎美術館準備室に名称変更

- 平成7年 11月 広島市現代美術館にて「岡本太郎」展開催
- 平成8年 1月 岡本太郎逝去（享年84歳）
- 6月 アートガーデンで川崎「岡本太郎追悼」展開催
- 11月 生田緑地にて美術館建設工事着工
- 平成9年 9月 新百合トゥエンティワンで「'97 TARO」展開催
- 平成10年 5月 岡本敏子氏により、青山のアトリエに岡本太郎記念館が開館する
- 平成11年 2月 美術館建設工事、展示工事竣工（工期2年3ヶ月）
- 4月 岡本太郎美術館準備室から川崎市岡本太郎美術館に名称変更
村田慶之輔氏が館長に就任、シンボルタワー「母の塔」工事竣工
- 10月 川崎市岡本太郎美術館開館、開館記念展「多面体・岡本太郎—哄笑するダイナミズム—」開催
- 平成15年 4月 岡本敏子氏の所有する岡本太郎関連資料1,827点が寄贈される（第三次）
- 平成16年 3月 多摩区役所1Fロビーに《樹霊》設置
- 4月 「肉体のシュルレアリスム 舞踏家土方巽抄」展（2003年）が、第35回舞踏批評家協会賞を受賞
- 10月 開館5周年記念展「テレビ発掘 まる裸の太郎」開催
- 平成17年 3月 北代省三氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4月 岡本太郎の養女・岡本敏子逝去
- 10月 多摩区役所1Fロビーに《樹霊》にかわり《月の顔》設置
- 平成18年 2月 入館者50万人達成
- 平成21年 4月 開館10周年記念展「岡本太郎の絵画」開催
- 平成23年 2月 岡本太郎生誕100年 誕生日記念イベント開催
- 3月 東京国立近代美術館で「生誕100年 岡本太郎」展開催
- 4月 「生誕100年人間・岡本太郎」展開催
- 10月 岡本太郎生誕100年記念イベント ダンス公演「TAROと踊ろう！」開催
- 平成24年 3月 入館者100万人達成
- 4月 北條秀衛氏が館長に就任、村田慶之輔氏が名誉館長に就任
- 平成25年 3月 池田龍雄氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4月 生田緑地一部指定管理者制度導入
- 平成26年 3月 生田緑地西口園路開通
- 7月 川崎市制90周年記念展「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」開催
- 10月 開館15周年記念展「TARO賞の作家II」開催
- 11月 開館15周年記念イベント「TARO祭り」開催
- 平成27年 2月 《母の塔》補修工事完了
- 4月 川崎市岡本太郎美術館資料収集委員会、資料評価委員会廃止
- 6月 川崎市岡本太郎美術館協議会廃止
川崎市文化芸術振興会議施設部会設置
- 平成30年 10月 入館者150万人達成
- 平成31年 7月 開館20周年記念展「これまでの企画展みんな見せます！」開催
- 令和3年 4月 土方明司氏が館長に就任
- 令和4年 7月 大阪中之島美術館にて「展覧会 岡本太郎」開催
- 10月 東京都美術館にて「展覧会 岡本太郎」開催

- 令和5年 1月 愛知県美術館にて「展覧会 岡本太郎」開催
2月 多摩区役所1Fロビーに設置された《月の顔》を常設展「岡本太郎とにらめっこ」に展示
10月 新庁舎の完成に伴い、本庁舎2階回廊デッキに《月の顔》を設置

施設・設備概要

常設展示室 (1,026 m²)

岡本太郎の多岐にわたる分野を越えた幅広い芸術作品や著作、パフォーマンス、フィールドワーク等の活動、また思想的な背景となる民族学やパリ時代での交友など多面体の岡本太郎の軌跡を伝えるためには、その表現世界の広がりに応える展示環境が不可欠でした。

常設展示室は、芸術活動の分野や内容、作品の特徴や形状、時代毎の傾向などによって、展示室全体が複雑に分節され、それぞれに独自の空間と役割を与えられた部屋が柔らかく結ばれた迷路のように作られています。そこには順路はなく来館者は迷宮の様な空間を歩きながら岡本太郎と出会い、その断片を発見する旅がはじまるのです。

各ゾーンには作品を映像・グラフィックと共に見せる絵画ゾーン、作品そのものによって空間を構成し、照明効果、映像の演出によって様々な表情を見せる彫刻のゾーン、また多面的な活動をわかりやすく紹介する展示空間など、それぞれが岡本太郎を訪ねる旅の一場面となっています。

これら従来の作品を単に鑑賞する美術館から、子どもから大人まで、理屈抜きに岡本太郎を肌で感じ体験できる展示空間として、楽しんでいただけます。

企画展示室 (828 m²)

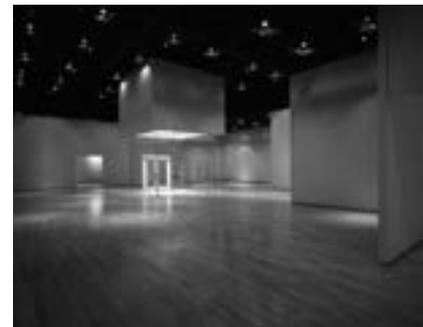
岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や、現代美術、子どもの創造性を高める参加型の展覧会など様々な展示に対応できる空間です。中央に外光を取り入れるための光庭が配置され、828 m²の空間は可動壁によって、いくつものパターンの展示空間を作ることができます。

母の塔

岡本太郎美術館のシンボルタワー「母の塔」は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかでふくよかな母のやさしさ」「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をテーマとして製作されました。製作にあたっては原型を3次元解析して得た座標数値を基に、正確に再現しています。

外装のGRCパネルは高い強度と精度管理のしやすさから、またクラッシュタイルは3次曲線に追従し、かつ目地処理が容易であることから選ばれました。外装の「タローホワイト」と名付けた特殊な色のタイルは、光を浴びるとゆっくりと表情を変え、微妙な歪みや揺らぎを見ることができます。

施工に際しては、空中における3次元座標の管理、複雑な形状とデリケートな作業、合理的な仮設計画等から、全ての作業を作業床で完了させるジャッキアップ工法が取り入れられ、先



端部分から順に完成させては押し上げる、まるで大地から生えてくるような、制作のプロセスそのものもダイナミックで芸術的な施工方法で完成しました。

- 名称・・・・・・母の塔
- 原作者・・・・岡本太郎
- 原型制作年・・1971年
- 設計・・・・・・川崎市教育委員会、現代芸術研究所
- 施工・・・・・・戸田・北島共同企業体
- 建物用途・・・・工作物（屋外彫刻）
- 構造・・・・・・鉄骨造（塔体パイプトラス+鋳鋼ジョイント）
- 全高・・・・・・30m
- 工法・・・・・・ジャッキアップ工法
- 支持杭・・・・現場造成杭（機械掘深礎工漬）径2m、7本
- 外装・・・・・・外殻 GRCクラッシュパネル
仕上 クラッシュタイル（スコルト加工）
- 人形彫刻・・・・FRPブロンズ仕上 16体 H=3.0~5.6m
内部 常温亜鉛メッキ鉄骨補強
- その他設備・・照明設備、避雷



V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

条例

(目的及び設置)

第1条 川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の美術に関する創造的活動を促進し、もって市民の芸術及び文化の発展に寄与するため、川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、川崎市多摩区枳形7丁目1番5号とする。

(事業)

第3条 美術館は、第1条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行う。

- (1) 美術作品及び資料（以下「美術作品等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 美術作品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術作品等に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、情報の交換、美術作品等の相互貸借等を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

(指定管理者)

第5条 市長は、法人その他の団体であって次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせる。

- 1 (1) 美術館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
- (2) 事業計画書の内容が、美術館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書の内容に沿った美術館の管理を安定して行う能力を有すること。

2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、第1項の指定をしたときは、その旨を告示する。

(指定管理者が行う管理の基準)

第6条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、美術館の管理を行わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第7条 指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(開館時間及び休館日)

第8条 美術館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前9時30分から午後5時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日（前2号に掲げる日を除く。）

(観覧料)

第9条 常設展又は企画展の展示会場へ入場しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第10条 美術作品等について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第1項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(受講料等)

第11条 市長は、第3条第4号に規定する事業を行うに当たっては、受講料又は入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、特に必要があると認めるときは、第9条に規定する観覧料及び第10条第2項に規定する特別利用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の還付)

第13条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第14条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第15条 美術作品等又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(平成11年6月30日規則第69号で平成11年10月30日から施行)

附 則(平成12年12月21日条例第79号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成17年9月30日条例第88号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成18年12月14日条例第77号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月20日条例第18号抄)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年10月9日条例第47号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附 則(平成21年12月24日条例第47号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定によ

り当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

(1) 川崎市スポーツ振興審議会条例

(2) 川崎市とどろきアリーナ条例

(3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則(平成24年3月19日条例第4号)

この条例は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第4条の次に4条を加える改正規定(第5条(指定管理者に美術館の管理を行わせることに係る部分を除く。))に係る部分に限る。)及び第12条の改正規定(同条を第16条とする部分を除く。)は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年3月23日条例第2号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第16条、第17条及び第20条の規定 平成27年5月1日

(2) 第3条の規定 平成27年6月1日

(3) 第19条の規定 平成27年7月1日

(4) 第7条の規定 平成28年4月1日

(5) 第12条、第14条及び第15条の規定 平成28年5月1日

(6) 第2条、第4条、第11条、第13条及び第18条の規定 平成28年6月1日

(7) 第6条の規定 平成28年9月1日

(8) 第5条の規定 平成28年10月1日

(9) 第8条の規定 平成28年11月1日

附 則(平成28年3月24日条例第30号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則(令和3年12月16日条例第81号抄)

(施行期日)

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

附 則(令和4年10月21日条例第43号)

(施行期日)

1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に模写、模造又は原板使用に係る許可を受けている者の当該許可に係る使用料については、なお従前の例による。

別表第1（第9条関係）

1 普通観覧料

(1) 常設展の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び65歳以上の者	300円	1人につき 240円
一般	500円	1人につき 400円

備考

- 1 団体とは、20人以上をいう。
- 2 学齢に達しない者及び学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「法」という。）第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。
- 3 高校生・大学生とは、法第1条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校、法第134条に規定する各種学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。
- 4 一般とは、前2項に規定する者及び65歳以上の者以外の者をいう。
- 5 企画展の観覧料を納付した者は、無料とする。

(2) 企画展の観覧料

1人につき2,000円の範囲内で市長がその都度定める。

2 共通利用券

種別	金額
100円券12枚つづり	1,000円
100円券25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

- (1) 美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場
- (2) 川崎市青少年科学館条例（昭和46年川崎市条例第24号）に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウム的一般投影又は特別投影の観覧
- (3) 川崎市立日本民家園条例（昭和42年川崎市条例第19号）に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2（第10条関係）

区分	単位	特別利用料
熟覧	1点 1日	200円
模写		1,010円
模造		1,010円
撮影	1点	300円

原板使用	1枚	2,030円
------	----	--------

条例施行規則

（趣旨）

第1条 この規則は、川崎市岡本太郎美術館条例（平成11年川崎市条例第25号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（公告）

第2条 市長は、条例第5条第1項の規定により川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）の管理を行わせるため、法人その他の団体（以下「法人等」という。）を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第5条第1項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間（以下「指定予定期間」という。）
- (4) 条例第5条第2項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出（以下「事業計画書等の提出」という。）の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項（事業計画書等の提出）

第3条 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第5条第2項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の美術館の管理に係る事業計画書及び経費見積書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類）
- (3) 事業計画書等の提出をする日（以下「提出日」という。）の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類（指定管理予定者）

第4条 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が2以上あるときは、条例第5条第1項各号に掲げる要件（以下「指定要件」という。）を満たし、かつ、次に掲げる業務を行う

上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者（以下「指定管理予定者」という。）とする。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が1である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。

3 市長は、前条第1項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前2項の指定管理予定者がいないときは、再度、第2条の規定による公告を行う。

（通知）

第5条 市長は、条例第5条第1項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書（第1号様式）により通知する。

（協定）

第6条 指定管理者は、市長と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 管理に要する費用に関する事項
- (3) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 管理の業務の報告に関する事項
- (5) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (6) 川崎市契約条例（昭和39年川崎市条例第14号）に規定する作業報酬に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

（事務の委任）

第7条 次に掲げる事務は、川崎市岡本太郎美術館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第10条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関すること。
- (2) 条例第12条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関すること。
- (3) 条例第13条の規定による観覧料等の還付に関すること。

（観覧券等の交付）

第8条 館長は、条例第9条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

（特別入場券）

第9条 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

（特別利用の申請等）

第10条 条例第10条第1項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書（第2号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第3号様式）を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第3条第1号に規定する美術作品等（以下「美術作品等」という。）の模写、模造、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、美術館の所蔵に係るものであることを、適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 美術作品等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項

（特別利用の不許可）

第11条 館長は、次に掲げる美術作品等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって美術作品等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
 - (2) 寄託された美術作品等で寄託者の同意を得ていないもの
 - (3) 著作権が存する美術作品等で著作権者等の同意を得ていないもの
 - (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの
- 2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

（観覧料等の減免）

第12条 条例第12条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 観覧料

ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支

援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が常設展の観覧を行う場合 全額

エ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実に図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額

オ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

（2）特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第4号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書（第5号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合にあっては川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場合にあっては身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

（観覧料等の還付）

第13条 条例第13条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

（1）災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 全額

（2）管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消す場合 全額

（3）前2号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額
（遵守事項）

第14条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（1）建物、附属設備又は美術作品等を汚損し、若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

（2）他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。

（3）展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。

（4）所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。

（5）前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項（委任）

第15条 この規則の施行について必要な事項は、市民文化局長が定める。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 川崎市岡本太郎美術館協議会規則（平成11年川崎市教育委員会規則第7号）の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附 則（平成25年3月29日規則第26号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

附 則（平成27年5月27日規則第49号）

この規則は、平成27年6月1日から施行する。

規 則（平成28年3月31日規則第25号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

第1号様式

第2号様式

第3号様式

第4号様式

第5号様式

令和5年度

川崎市岡本太郎美術館年報

2024年10月発行

編集・発行／川崎市岡本太郎美術館

川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内

TEL 044-900-9898

TARO OKAMOTO
MUSEUM OF ART
KAWASAKI